

3 經濟狀況

252

昭和17年5月26日

在中国重光大使より
東郷外務大臣宛(電報)

日中和平には經濟問題改善が先決であるとの

王克敏の内話について

南京 5月26日後発

本省 5月26日夜着

第六三〇號(部外極秘、館長付號扱)

⁽¹⁾ 本使去ル二十二日青島視察ノ機會ニ王克敏ト會談セル要旨
左ノ通り

一王ハ久闊ヲ敍シタル後支那事變後自分ハ香港ヨリ北京ニ
赴キ出來得レハ外交的ニ事變ヲ收拾シ出來サレハ暫ク局
地的ノ安定ヲ圖リ以テ全局ノ解決ニ進ミタキ意嚮ノ下ニ
聊カ努力セルカ微力ニシテ何レモ失敗ニ歸シタルハ慚愧
ニ堪エスト述フ

二最近ノ事態ヲ如何ニ見ルヤトノ問ニ對シ王ハ二年來蟄居
シ居ル爲詳シキコトハ承知セサルモ一般民衆ノ生活力窮
乏ノ一途ヲ辿リツツアル爲總ユル事態ハ惡化ノ方向ニ向

ヒツツアルモノ如シ右ハ物資ノ缺乏ト物價ノ暴騰ニ依
ル所ニシテ主トシテ經濟問題ナリ現在物資ノ足ラサルハ
獨リ支那ノミノ現象ニアラサルコト勿論ナルモ今日執リ
ツツアル封鎖政策ハ一層物資ノ缺乏ヲ深刻ナラシメタリ
之ヲ緩和スル爲ニハ物資流通政策ヲ用ヒサルヘカラス次
ニ幣制ノ問題ナルカ凡ソ貨幣ノ價值ヲ維持スルモノハ政
府ノ信用ニシテ政府力健全財政ヲ執ルヤ否ヤニ繫ルコト
勿論ナルカ貨幣ノ種類ヲ統一スルコトナク今日ノ如ク各
地ニ種々ノ貨幣存在シ且其ノ流通區域ニ制限アリテハ貨
幣ノ價值自ラ不安定トナリ物價ヲ安定セシメ其ノ交流ヲ
圓滑ナラシメ得サルコト當然ナリ要スルニ民衆ノ窮乏ヲ
救フニハ軍事方面ニ關聯アルヘキモ先ツ經濟方面ニ於テ
(一)封鎖政策ヲ改メ物資流通政策ヲ執ルコト(二)幣制ヲ統一
スルコト最モ必要ナリト述フ

⁽²⁾ 三、重慶側ノ態度ニ付尋ネタルニ對シ王ハ重慶側ニ於テモ喜
ンテ戰爭ヲ繼續シ居ルモノトハ信セラレス元來日支双方
共和平ヲ希望スルコトニハ變リナカルヘシ事變以來和平
成立ノ好機會ハ二三回アリタルカ何時モ之ヲ取逃シタリ
例ヘハ一昨年秋松岡外相在任當時ノ如キモ相當ニ話ハ進

ミタル如キモ遂ニ成功セスシテ終レリ昨年秋頃ハ重慶部内ノ實力者ノ間ニ共產黨排撃ノ氣運昂マリ之ヲ機會ニ日支ノ和平ヲ計ラントノ空氣モ起リタルカ之亦實現セスシテ止ミタリ今日迄和平ノ成功セサリシハ(一)日支双方共自分ノ肚ヲ隱シ専ラ相手方ノ肚ノミ探ラントシテ術策ヲ弄シタルコト(二)中間ニ立チタル者カ双方ノ眞意ヲ充分ニ傳ヘサリシコトニ依ルモノト思惟セラルルカ假令右ノ如キ結果ナカリシトスルモ愈々最後ノ段階ニ於テハ(三)和平條件ニ不一致ニ依リ結局駄目トナリタルヤモ計ラレスト述フ

四、重慶側最近ノ消息ニ付尋ネタルニ王ハ大東亞戰爭以來重慶方面ノ消息全ク不明ナルニ付目下北京ニ在ル重慶側ニ關係深キ某ヲ來月重慶ニ赴カシメ篤ト重慶側ノ氣持ヲ確カメ其ノ次第ニ依リテハ今後ノ聯絡方面等ニ付テモ打合せシメタキ豫定ナリ同人ハ往復約四十日ヲ要スルニ付七月ニ歸着スヘシ其ノ際何等收穫アラハ改メテ通報スヘク自分モ其ノ上ニテ和平問題ヲ考究シタキ考ヘナルモ何レニスルモ經濟問題ノ改善カ總テノ先決問題ナリト述フ
③ 本使ヨリ大東亞戰爭勃發後ノ日支兩國ノ立場ヲ説明シ今

ヤ重慶ハ翻然抗戰ヲ放棄シ日本ニ協力スヘキ好機會ニ遭遇セルモノナルカ若シ漫然此ノ儘ニ進ムニ於テハ日支人ノ感情ハ益々乖離シ愈々事變ノ收拾ヲ困難ナラシムヘク之支那ノ爲採ラサル所ナリト告ケタルニ王ハ至ク同感ニシテ自分モ斯カル傾向ニ在ルヲ憂慮シツツアルモノナルカ支那ヲシテ日本ニ協力セシムルニハ先ツ支那ノ民衆ヲシテ日本ノ眞意ヲ充分了解セシメ日本ニ協力スルノ意義ト必要性ヲ感得セシメサルヘカラス之カ爲ニハ日本ハ支那ニ於ケル施策特ニ經濟問題等ノ取扱ニ之ヲ反映セシメ支那人ヲシテ具體的ノ事實ニ依リ日本ヲ信賴スルノ念ヲ起サシムルコトニ努力セサルヘカラス斯クシテ民衆生活ノ安定ヲ圖ルコトハ聽テ支那ノ指揮者ヲ奮起セシメ延イテ重慶側ヲモ引込ミ得ル背景トナルモノナリト述ヘタリ(尙王ト呢懇ナル青島海關監督案中行ハ清水ニ對シ王ハ依然蔣介石トノ和議ノ希望ヲ捨テス機會ト方法トアラハ敢テ仲介ノ勞ヲ採ルヲ辭セストノ意氣込ナルカ過日自分(秦)カ上海ニ赴キ李思浩ト面會セルニ重慶側ニテハ臨時政府時代ノ王ノ苦衷ヲ諒トシ同人ニ對シ好感ヲ表シ居ル旨述ヘタリト内話セル趣ナリ)

253

昭和17年6月3日

在青島高瀬(真一)総領事より
東郷外務大臣宛(電報)

華北での物価対策の問題点につき本省側の意

向照会について

青 島 6月3日後発

本 省 6月4日前着

第二二九號(外機密、館長符號扱)

北大發五月六日附極秘合第一三三號ニ關シ

去ル二十二日ヨリノ北京經濟會議ニ於テ六月十日頃ヨリ實施ニ決定セラレタル「華北物價緊急對策要綱」ハ現ニ内地ニ實施中ノ統制經濟ヲ其ノ儘北支ニ實施シ今日迄全然自由ニ放任セラレアリタル支那側ノ物價及配給機構ヲ全面的ニ統制シテ其ノ物價ヲ一律ニ約四割方引下ケントスルモノニシテ北支對策上正ニ劃期的ノ試ナルカ私見トシテハ右對策要綱ノ實施ノ結果ハ我方占領地域内ノ物資ハ急速ニ敵側ニ逃避シ測リ知ルヘカラサル混亂ヲ惹起スヘキコトヲ憂慮シツツアルモ會議ヨリ歸リ來レル係官ノ報告ニ依レハ該會議ニハ東京ヨリ陸軍及興亞院ノ代表者ハ素ヨリ商工、農林、大藏等各省代表者モ參加セル趣ナルニ付前述「對策要綱」

ハ恐ラク事前ニ興亞院等ヨリ本省ニモ協議シ其ノ内諾ヲ得タルモノナルヘク從テ此ノ際ハ當方ニ於テモ極力北京會議ノ決定ニ協力スル意嚮ナルモ唯右ニ依リ最モ深刻ナル打擊ヲ受クル者ハ天津及青島ノ邦人ナルヲ以テ之カ救濟問題等ニ付テハ特ニ本省ノ御考慮ヲ煩度ク尙今後當方面ニ於テハ(イ)事實上興亞院ノ徹底セル公定價格ヲ其ノ儘當館ニ於テ鵜呑ニシテ告示シ之ヲ居留民ニ強制スルコトナルヘク以テ相當苦シキ立場ニ立ツコトアリ得ヘク

(ロ)配給統制ノ結果多數ノ失業者ヲ出スヘキ處係官カ北京ニ於テ之カ對策ヲ興亞院側ニ訊ネタルニ全然未定ナル旨返答アリタル趣ニテ當面ノ難問題トナルヘク

(ハ)「對策要綱」ニ依レハ北支ニ於ケル外國商人ニ對シテハ外交交渉ニ依リ我方統制下ニ服セシムタルモ之カ成否甚タ疑問ニシテ支那商及外國商ノ提携ニ依リ邦人ノ地盤カ覆サルル惧多シ

以上ノ諸點ニ關シテハ豫メ本省ノ御諒察ヲ得置キタシ
南大、天津ハ轉電セリ

昭和17年6月4日

在中国重光大使より
東郷外務大臣宛(電報)

日中間の經濟協力及び南京の經濟苦境に關す

る汪兆銘との會談について

南京 6月4日後發
本省 6月4日夜着

第七〇四號(極祕、館長符號扱)

⁽¹⁾五月三十一日本使汪主席ト會談(梅思平等列席)ノ際經濟問題ニ觸レタル點左ノ通

一、本使ヨリ現在世界ヲ舉ケテ戰爭ノ禍中ニ在リ所謂眞ノ世界戰爭ノ形ヲ取ルニ至レル爲如何ナル國家ト雖經濟上ノ困難アリ國民ハ凡テ其ノ壓迫ヲ感シ居ル狀況ニテ世界ノ富國ト稱セラルル米國ニ於テスラ相當深刻ナルモノアリ日本ハ比較的有利ナル立場ニ在ルモ戰爭ニ從事シ居ル關係上素ヨリ經濟上幾多ノ困難ナキニアラス支那モ滿洲モ亦此ノ困難ヲ免カルコト能ハサル立場ニ在ルヲ以テ日滿支ノ協力ハ戰爭終局ノ勝利ノ爲ニ愈々必要ナル次第ナルカ右經濟協力ニ關シテハ國民政府當局ハ諸般ノ方策ヲ講シテ餘リ理論ニ囚ハレス積極的ニ經濟開發ヲ促進スル

等協力ヲ具體的ニ且實際的ニ遂行スルト共ニ生産増加ヲ計ル等ノ手段ニ依リテ國民ヲシテ經濟壓迫感ヲ減少セシムルニ努力スヘキナリ自分ハ日本側關係方面ニ對シテハ一面支那側ノ面目氣持ヲ尊重シテ實際的ニ仕事ヲ進ムル樣勸メ居ル次第ナルカ國民政府モ此ノ際此ノ點ニ最モ意ヲ用フルコト可然シト存ス右ノ如キ日本ニ對スル經濟協力ノ成果ハ後ニ至リ支那ニ殘リテ經濟ノ基礎トナルヘキモノナリ主席ノ意見如何ト尋ネタル處

二、⁽²⁾

主席ハ現在民衆ノ苦痛ハ極メテ深刻ナルモノアリ常ニ精神的ニ之ヲ鼓舞激勵スルニ努メツツアリ例ヘハ軍隊ニ對シテモ軍隊ノ待遇ハ現在良好ナラサレトモ一般人民ヲ考フレハ決シテ不平ヲ言フヘキニアラス況ヤ軍人カ良キ待遇ヲ希望シタリ他ヲ羨ムコトハ宜シカラス曩ニ日本軍ノ香港占領ノ際英國兵ノ贅澤振ヲ見テ日本兵ハ少シモ之ヲ羨望セス寧ロ其ノ爲ニ戦ヒニ破レタルヲ見テ戒心セリト云フ凡ソ一家ニ於テ其ノ子女ノ衣食足ラサルヲ見レハ親タル者心ニ忍ヒサルモノアリ然レ共其ノ子女ヲシテ如何ナル惡事ヲ働クモ差支ナシトハ決シテ言ハサルヘシト說示シツツアリ然レ其實實際上腹カ空イテハ如何ニ精神ヲ鼓

255

舞スルモ駄目ナリ結局ハ物資ノ問題ニ落ツル譯ナルカ重慶側ハ「ビルマ、ルート」切斷ヲ遭ヒタル後南京側ハ「ビルマ、ルート」切斷ヲ欣ヒ居ルカ安ソ知ラン我々ハ之ニ依リ假令外部ヨリ物資ノ輸入ハ出來サルモ外部ニ物ヲ持出サルルコトナシ南京方面ハ反對ニ血ヲ吸ハルルカ如ク必要ノ物資ハ皆取ラレテ居ルテハナイカト冷評ヲ浴セ居レリ我々ハ日本ニ對スル協力ノ爲ニハ如何ナル忍耐ヲモ辭セサル覺悟ナルカ民衆ハ餘リ苦シクナレハ我慢シ得サルニ至ルハ自然ノ勢ナリ現在最モ苦痛トスル所ハ軍票經濟ト法幣經濟トカ混淆シテ存立スルコトナリ即チ軍票一圓ハ法幣五、六元ニ當リ俸給及賃金生活者ハ收入ハ法幣ナルモ支出ハ概ネ軍票ニテ其ノ生活極メテ窮迫シ居レリ官吏ノ如キモ自身ハ辛棒スルモ家族力饑餓ニ迫ラレテハ當人モ遂ニ元氣ヲ失フニ至ル譯ナリト述ヘタリ

昭和17年6月8日

在中国重光大使より
東郷外務大臣宛(電報)

対日經濟協力推進のため日本国策会社の調整
を梅思平要望について

第七一八號(極秘、館長符號扱)
機密信第二五七號ニ關シ

過般梅實業部長特ニ本使ヲ來訪

ト東京方面ニテハ國民政府ニ對シ如何ナル希望ヲ有シ居ルヤト尋ネタルニ付國民政府カ大東亞戰爭ニ協力スル爲熱意ヲ以テ自發的ニ經濟協力ニ關スル工作ヲ進メラルコトヲ希望シ居リ之カ爲ニハ日本側ニ於テモ國民政府ノ體面及氣持ハ充分尊重スヘキモ國民政府自身ニ於テ進シテ實際的方策ヲ案出シ生産増加其ノ他經濟開發ヲ圖ルニ努力セラルルコトヲ期待シ居ルモノナリ其ノ結果ハ經濟的基礎カ長ク中國ニ殘リ國民政府ニ取リテモ大イニ利益トナルヘシ歸朝直前話シアリタル經濟上ノ諸問題ニ付テモドシドシ話ヲ進ムル様關係方面ヲ督勵シ居ルニ付貴方ニ於テモ努力セラレタシト告ケタル處梅ハ國民政府ニ於テハ一方日本ニ對シ積極的ニ經濟的協力ヲナスト共ニ一方民生ノ安定ヲ圖ルコトヲ目標トシテ努力スル方針ナルカ愈々之ヲ具體的ニ實行スル場合ニハ日本側ノ在華機關餘

南京 6月8日後発
本省 6月8日夜着

リニ多ク且其ノ間ノ權限明ラカナラサル爲聯絡ニ不便ヲ感スルコト鮮カラス甚タシキニ至リテハ各機關ノ間ニ意見ノ一致セサルコトアリ之カ爲折角自發のニ案出セル仕事モ容易ニ渉ラサルコト多ク例ヘハ最近成立セル中日棉花協會ノ如キモ其ノ指導監督ニ關シ軍側ト興亞院側トノ意見纏マラサル爲活動ヲ開始シ得サル狀態ニ陥リタルカ再三斯ル問題ニ逢着スレハ政府部内ノ者モ勢ヒ態度消極的トナラサルヲ得ス此ノ間ニ立チ政府ハ非常ナル困難ヲ感シ居レリ又國民政府トノ折衝ハ總テ大使館ヲ通シテ行ハルル建前トナリ居ルニ拘ハラヌ國策會社ノ調整問題ハ他方面ヨリ直接ニ話合ヒ度シ等ト言ヒ來ルコトアリ斯ルコトハ國民政府ノミナラス大使館側モ同様困ル點ナルヘシト述ヘタリ

ニ⁽¹²⁾梅ヨリ國策會社調整ノ希望ハ大東亞戰爭ニ協力シ得ル様一層其ノ事業ノ發展ヲ圖ラントスル意圖ニ基クモノニシテ決シテ利權回收ト云フカ如キ消極的意味ノモノニ非サルニ付其ノ實現ニ付一層ノ援助ヲ得タシト述ヘタルニ付本使ヨリ素ヨリ援助ヲ吝ムモノニ非サレトモ會社調整問題ハ實際上成績ヲ舉ケ一層其ノ能率ヲ發揮シ得ル様工夫

スルコトヲ主眼トスヘキモノニシテ單ナル理論鬭爭ノ如キハ實際上ニ益無シ之軀テ中國側ノ利益ナリ尙敵性事業ノ處理ニ付テモ考究シ意見アラハ提出セラレタシト告ケタルニ梅ハ客月二十二日上海ニ於ケル敵國人名義ノ紡績工業七ヶ所ヲ無條件ニテ支那側ニ引渡サレタルコトハ非常ニ好影響ヲ與ヘタルカ其ノ餘ノモノニ付テモ目下銳意調査中ニテ成案ヲ得ルニ至ラハ提出スヘシト答ヘタリ

三、最後ニ梅ハ國民政府強化問題ニ關シ日本側ニテハ二年以來國民政府ニハ何等ノ業績無シト非難スル向キアルモ國民政府側ヲシテ言ハシムレハ政府ヲ置イテ仕事ヲサセナイカラ出來サリシナリトノ見解モ立チ得ヘク素ヨリ政府ノ努力ノ足ラサルコトハ充分反省セサルヘカラサルモ日本側ノ牽制ニ依リ進捗シ居ラサル部面モ尠カラサルニ鑑ミ現在ノ如キ行詰リノ局面ヲ打開スル爲國民政府ノ努力ト共ニ日本側ニ於テモ一層支援セラルコトヲ希望スト述ヘ本使ヨリ政府ノ努力殊ニ梅部長ノ努力ヲ勸メ置キタリ

上海へ轉電セリ



256

昭和17年6月8日

在北京土田參事官より
東郷外務大臣宛(電報)

華北での物価対策実施上の問題点につき詳報

北京 6月8日後発
本省 6月8日後着

第五二九號(館長符號扱)

青島發貴大臣宛電報第二二九號ニ關シ

- 一、華北物價緊急対策ハ五月二十三、四兩日ノ關係諸機關會議ノ結果來ル十日ヨリ實施スルコトナリタル處本對策ニ基ク物價引下ノ目標ハ一應最近ノ華北ニ於ケル物價安定シタル昨年七月資産凍結措置實施直前ノ水準ニ在ルカ實施後直ニ全面的ニ右水準ニ引下クルコトハ不可能ニ近ク必スシモ得策ニアラサルヲ以テ食料其ノ他必需物資ノ内外ヨリノ獲得ト睨ミ合セツツ可能ナルモノヨリ可能ナル範圍ニ於テ漸ヲ追テ之ヲ實行スル意圖ナリ
- 二、今次施策ノ二大重點ハ
(一)從來兎角放任セラレアリシ支那側ヲシテ出來得ル限り邦人側ト同調セシメ統制ニ服セシメルコト
(二)從來各地區ニ於テ區々ナル施策ヲナシ「ブロック」化

シツアル現状ヲ是正シ中央ニ於テ統轄スルコト

ニ在リ又本對策要綱ニ掲ケラレ居ルモノハ原則的指示ニシテ實施ノ方ハ諸方面ノ情勢特ニ華人ノ商業機構商慣習民衆ノ性情中國側ノ政治力警察力ノ微弱等ヲ充分考慮シタル上之ヲ行フモノニシテ其ノ間或ル程度ノ動搖ハ免レサルコト乍ラ華北全般ニ影響ヲ與フルカ如キ大混亂ヲ惹起セシムルコトナキ樣慎重ヲ期シ居レリ

三、特ニ輸入機構配給機構整備ノ件ニ關シテハ原則的の三段階制ヲ即時強行スレハ獨リ邦人ノミナラス華人ニ於テモ大恐慌ヲ招來スルハ當然ニシテ之亦實施ニ際シ各現地竝ニ各物資ニ於ケル特殊事情ヲ參酌シ之ヲ行フ筈ニシテ本問題ニ關シテハ當地興亞院側ニ於テモ擔當官ヲ天津、青島等輸入基地ニ派シ現地各機關ト慎重協議ノ上之ヲ實施スル意圖ヲ有シ居レリ茲ニ考フヘキハ本對策ヲ離レテ考フルモ華北ニ於ケル邦人輸入配給業者ハ對日期待物資ノ漸減ニ基キ各自取扱數量ノ減少ハ當然ニシテ之カ爲或程度ノ轉廢業ハ必至ノ情勢ニアルコトニシテ今次施策ノ爲其ノ時期ヲ早ムルコトトナルヘク之カ對策ハ夫々現地事情ニ即シ考案セラルヘキ儀ナリ

本對策ニ基ク物價決定方法ハ中央物資對策委員會ノ指示ニ基キ地方物資對策委員會ニ於テ決定シタルモノヲ邦人側ハ領事館ヨリ告示スルコトナル譯ニシテ其ノ建前ハ從前ト變リナク唯從前ハ邦人側ヲ對象トシタル爲事務局ハ領事館内ニ置キタルヲ今次施策ハ前掲(一)(二)ヲ重點トセル關係上特務機關内ニ置クコトナリタルニ過キス中央物價對策委員會ニ於テハ當館カ地方物資對策委員會ニ於テハ各領事館カ主トシテ物價關係諸對策ノ決定ヲ運用ニ参加スル仕組ニシテ興亞院決定ノ價格ヲ鵜呑ミニスル譯ニハアラス宜シク從來ノ對邦人物價對策ノ經驗ヲ生カシ本件處理ニ參劃協力シ以テ施策ノ圓滑ナル運行ヲ期スヘキナリ

五、外國商人(主トシテ獨逸人)ニ對シテハ自發的ニ我方統制ニ服セシムル如ク措置スルヲ建前トスルモノニシテ我方占領地區ニ於ケル經濟活動ニ關シテハ外國商人ト雖我方ニ協力セサレハ今後ハ却テ困難ナル立場ニ立ツヘキハ自明ノ理ニシテ又已ムヲ得サレハ外交交渉ニ依リ我方統制ニ服セシムル要アルヘク之カ成否疑問ナリトシテ放任スルヲ得ス對策目下準備中ナリ

六之ヲ要スルニ今回ノ緊急對策措置ハ華北ノ兵站基地的使命達成及民生ノ安定ノ爲ニシテ摩擦生起等ヲ豫期シツツ調整ノ實施セサルヲ得サル現狀ニ在ル譯ニシテ當館ニ於テモ大局的見地ヨリ之ニ協力ヲ爲シ居ル次第ナリ
尙委細勝野事務官ヨリ御聽取相成度
青島、天津、南大へ轉電セリ



257

昭和17年7月14日

在中国重光大使より
東郷外務大臣宛(電報)

関税收入に関し南京国民政府への配慮方意見

具申

南京 7月14日後発
本省 7月14日後着

第九五二號(館長符號抜)

上海宛電報第三四三號ニ關シ

從來國民政府ハ關稅收入ニ關シテハ正金ヨリ借入ノ形式ヲ執リ來リタル處右ハ未タ總稅務司署カ國民政府ノ管理下ニ屬セサリシトキノ變法ニ過キス今日國民政府ハ完全ニ各地稅關ヲ掌握スルニ至リタル次第ナルニ付國民政府ニ於テハ

斯ル變法ヲ改正シテ各地ノ關稅收入ハ全部總稅務司署ニ集メ當然財政部ノ收(入)ニ歸屬スル如ク改メラルル様内々熱望シ來リタリ右ハ當然ノ申出(ナル)ノミナラス日本側トシテハ昭和十五年三月十九日興亞院會議決定「支那新中央政府成立後ノ支那海關收入處理方針」ニ於テ既ニ其ノ方針ヲ決定シ居ル次第ニシテ之カ實施ハ國民政府ノ中央政府トシテノ權威ヲ昂ムル上ニ於テモ有意義ナリト思料セラルルニ付周佛海渡日ノ際ニ於テ本件解決方御配慮ヲ請フ尙現行ノ遣方ハ相當長期間ニ亘リ居ル爲一種ノ既成事實ヲ形成シ居リ遽ニ變更スルコトニ對シテハ興亞院方面竝ニ華商方面ヨリノ反對ヲ豫期セラルルニ付本件ハ國民政府強化ノ最高政策ノ立場ヨリ政治的ニ決定スル要アリ青木顧問トモ御協議ノ上本省ニ於テ善處方特ニ御配慮ヲ請フ北大、上海へ轉電セリ

258

昭和17年7月14日

西外務次官
周仏海財政部部長

會談

幣制改革等に関する西次官と周仏海との會談

周財政部長西次官會談錄

七月十四日午後二時半周財政部長財政部參事黃遠ヲ帶同西次官ヲ來訪(山東東亞局長^宋同席)來朝ノ挨拶ヲ爲シタルカ其ノ際ニ於ケル會談要旨左ノ通

周部長 今般自分ハ中國ニ於ケル幣制改革ニ付日本側ノ與ヘラレタル多大ノ援助ニ對シ謝意ヲ表スルト共ニ今後ニ於ケル御協力ヲ御願スル爲ニ來朝シタル次第ナリ

次官 國民政府カ幣制改革ニ付異常ノ努力ヲ拂ハレツツアリシコトハ自分モ豫テヨリ能ク承知シ居リタル所ナルカ幾多ノ困難ヲ排シテ之ヲ爲シ遂ケラレタルコトニ對シ深ク敬意ヲ表スルモノナリ

周部長 幣制改革ハ國民政府強化ノ重大政策ノ一ナリト思考ス從來國民政府治下ニ於テモ舊法幣力其ノ儘流通シ居リタル爲一般民衆ハ舊法幣即重慶政權ニ對スル執着ヲ去ル能ハス國民政府ノ統治上阻害少ナカラサル狀態ニアリシカ今回ノ改革ニ依リ此ノ點ハ大イニ是正サレタリト考フ尙儲備券ノ流通等今後ノ通貨問題解決ノ爲ニハ此ノ上トモ日本側ノ協力ニ俟ツコト甚タ大ナルモノアリ此ノ點宜シク御願申ス

次官 自分カ嘗テ青島ノ總領事タリシ當時西安事件ノ勃發

スルアリ當時蔣介石ニ對スル一般民衆ノ支持極メテ強カリシヤヲ觀取セラレタルカ右ハ矢張り一般民衆ノ通貨ヲ中心トスル蔣政權ニ對スル結合ニ基クモノナルコトモ重大ナル原因ト認メラレタリ何レニスルモ通貨政策ト政治トハ極メテ密接ナル關係ヲ有スルコト御説ノ通りナリ

周部長 幣制改革ハ國民政府ノ強化ノ爲ニハ誠ニ大切ナルコトナルモ國民政府ノ政治ノ目的ニハ非ス寧ロ其ノ手段ナリ吾々政治ノ目的ハ飽迄日支事變ノ解決ヲ計リ進シテ大東亞建設ニ協力スルコトニアリ之カ爲上下折角努力シツツアル次第ナリ

次官 日本、國民政府ト而シテ大東亞ノ建設トハ全然不可分ノ關係ニアリ日本トシテモ國民政府ノ育成強化ニ全力ヲ擧ケテ之ニ協力シツツアリシコトハ御承知ノ通りナリ時ニ國民政府治下一般民心ノ趨向如何

周部長 卒直ニ申上クレハ當初租界ヲ中心トスル一般民衆ハ二ツノ考即チ其ノ一ハ日本ハ緒戰ニ於テコソ大勝ヲ爲シ居ルモ結局ハ戰ニ敗ルヘシ其ノ二ハ日本カ勝テハ支那モ我物視スルニ至ルヘシトノ日本ニ對スル恐怖ノ心持ナリキ其ノ後日本側未曾有ノ戰果ニ依リ前者ノ考ハ漸次消

失シタルモ後者ノ疑念ハ今尙解消セサル狀態ナリ

次官 一般民心ヲ安ンセシムル爲ニハ日本側ニ於テ實行ニ依リ之ヲ示スコト最モ必要ナリト考フ

周部長 左様ニ存ス大東亞戰爭勃發以來國民政府ハ何等協力モ出來ス洵ニ御恥ツカシキ次第ナルカ唯中國ニハ無限ノ物資ト人トアリ此ノ兩部面ヨリ今後モ出來ル丈協力致度キ覺悟ナリ

次官 國民政府從來ノ協力ハ日本側ニ於テモ深ク之ヲ多トスル處ナリ今後物心兩方面ヲ通シ益々協力以テ兩國ノ提攜強化セラレンコトヲ希望ス日本ハ是迄東亞ニ於テハ勿論西印度洋方面迄驚クヘキ戰果ヲ收メツツアリ今ヤ不動ノ確信ヲ以テ戰爭完遂ニ邁進シツツアリ何卒御來朝ヲ期トシ充分我國ノ實狀ヲ視察セラレンコト希望ニ堪ヘス

周部長 自分ハ二週間餘滞在ノ豫定ニ付此ノ間各方面トモ接觸大イニ視察ノ目的ヲ達成シ度キ念願ナルカ此間大臣ニモ親シク御會ノ上御意見ヲ承ハリ度キ考ナリ何卒次官ヨリ宜シク御傳ヘヲ乞フ

次官 大臣ハ本日午後一時ノ汽車ニテ西下セラレタルモ明後日ニハ歸京ノ豫定ナルニ付其ノ上ユル御話申上ケ

ル機會モアルヘシ今日御話ノ次第ハ自分ヨリ大臣ニ申傳フヘシ

259

昭和17年7月17日

在中国重光大使より
東郷外務大臣宛(電報)

浙東占領地区の經濟情勢について

南京 7月17日午後発

本省 7月17日夜着

第九七八號(館長符號扱、部外極祕)

今般軍ニ於テ滿鐵社員ヲ浙東作戰ニ從軍セシメ占領地ノ經濟情勢ヲ調査研究セシメタル處結果大要左ノ通

敵地區ニ於テハ想像以上ニ民心安定シ物資亦豊富ナルコト判明セル趣ナリ(本情報ハ出所ノ關係上外部ニハ嚴ニ極祕扱ヲ請フ)

記

一、敵地區民政ハ比較的安定シ居レリ

二、物資ハ舶來品殊ニ文房具及「キニーネ」ハ激減シ爲ニ上層階級ハ相當影響ヲ受ケ居レルモ其ノ他ノ階級ハ主トシテ土產品ニ依存スル關係上左シタル不便ヲ感セス

三、物品殊ニ食糧品ハ相當豊富ニシテ重慶側施策ノ爲比較的低廉ナリ

四、田賦ノ實物徵集ハ順調ニ進展シツツアリ

五、我方封鎖ノ結果手工業の生産事業ノ復活ヲ見從テ封建的色彩濃厚ナル地方ニ於テハ我方對敵封鎖ノ爲徹底的打撃ハ蒙リ居ラス而シテ各般ノ事情ヨリ我方對敵封鎖ヲ現在以上ニ強化スルコト困難トセハ支那事變處理ノ一方策トシテノ經濟封鎖ニハ此ノ際再檢討ヲ加フル要アリト認ム云々

委細郵報

260

昭和17年7月21日

在青島高瀬總領事より
東郷外務大臣宛(電報)

青島における物価対策状況につき報告

別電一 昭和十七年七月二十一日発在青島高瀬總領事

より東郷外務大臣宛第二八六号

青島における物価対策大要

二 昭和十七年七月二十一日発在青島高瀬總領事

より東郷外務大臣宛第二八七号

青島における物価対策要綱の実施状況について

三 昭和十七年七月二十一日発在青島高瀬総領事

より東郷外務大臣宛第二八八号

青島における物価対策要綱実施後の物価変動
について

青 島 7月21日後発
本 省 7月21日夜着

第二八五號(館長符號扱)

本官發上海宛電報

第五九號

貴電合第五五六號ニ關シ

物價問題ニ關スル貴地公館長會議ノ參考迄ニ當方面ニ於ケル物價對策ノ狀況竝ニ過般ノ「華北物價緊急對策要綱」實施後ノ事情等別電第六〇號乃至第六二號ノ通り電報ス上海ヨリ御見込ニテ中支各館ヘ轉電又ハ轉報アリタシ大臣、南大、北大、天津、濟南ヘ轉電セリ

(別電一)

青 島 7月21日後発

本 省 7月21日夜着

第二八六號(館長符號扱)

⁽¹⁾ 本官發上海宛電報

第六〇號

昭和十五年九月十九日ノ領事館告示ニ依リ所謂九、一八物價停止令(華北ニ於テハ北京、天津、青島ノ三地ノミニ施行セラル)ニ依リ物價統制ニ乗出シタル以來去ル六月十日「華北物價緊急對策要綱」ノ實施ニ至ル迄當館ニ於テ實施シタル物價對策ノ大要左ノ通りナリ

(一)生活必需品及準必需品ハ勿論廣ク其他ノ商品ニ至ル迄約一萬一千種ノ商品ニ付最高價格ヲ決定實施セリ

(二)右最高價格ノ決定ニ當リテハ夫々ノ同業組合其ノ取扱ニ係ル商品ノ最高卸賣及小賣價格案ヲ領事館ニ提出セシメ當方ニ於テ之ヲ審查決定スルノ方法ニ依レリ

(三)同業組合ノ數ハ現在一五三ニ上レリ

(四)重要商品中石油、米、小麥粉、綿糸布、木材、「セメント」、砂糖、新聞紙、鋼材、亞鉛引鐵板ハ所謂物動物資トシテ軍及興亞院ニ於テ之カ統制ニ當ルコトニ北京ニ於

テ取極メラレ從テ右商品ノ統制ハ從來ヨリ領事館ノ手ヲ離レ居タリ而シテ軍及興亞院ハ右物動物資ノ統制ハ夫々ノ同業組合(但シ輸入部門ニハ華人ヲ入レス卸賣部門ノ一部ニ參加セシム)ヲ組織セシメ右組合ヲシテ適正價格ヲ決定シ右價格ヲ越ヘテ闇取引ヲ爲シタルモノニ對シテハ商品ノ配給ヲ停止スル等方法ニ依リ專ラ自肅ニ依ツテ價格統制ノ目的ヲ達セントシタルモ實際ニ於テハ華商側ノ違反ニ依リ其ノ效果少ナク甚シキハ組合決定價格ニ數倍スル華商ノ闇相場公然ト存在シタリ

(五)⁽²⁾今日迄當館ニ於テ實施シタル切符制ハ米、砂糖、燐寸、洗濯及化粧石鹼ナルカ切符制實施ノ目的ハ消費規正ヨリモ寧ロ居留民ノ生活安定ニアリタリ

(六)生活必需品中ノ魚類及野菜果實ニ付テハ其ノ特殊商品ナルニ鑑ミ今日迄最高價格ノ決定ヲ爲ササリシ處ノ力爲價格暴騰セリトテ居留民間ニ非難アリ目下對策講究中ナリ(七)之ヲ要スルニ邦商ニ關スル限り前述一萬一千種ノ最高價格案ニ依リ或ル程度迄物價ノ暴騰ヲ抑制スルヲ得タリ而シテ右措置ニ對シテハ邦人側ニ對シテノミ價格統制行ハレ支那側ニ統制無キ爲徒ラニ支那商人ヲシテ暴利ヲ得セ

シムル結果トナルトテ非難シタル向アリタルモ實際ニ於テハ邦商モ支那人ニ對シテハ支那側ノ相場ニ依リ取引シタルモノ多キ模様ニテ隨テ前記中非難モ一部ノ間ニ止マレリ

大臣、南大、北大、天津、濟南へ轉電セリ

(別電二)

青島 7月21日後発
本省 7月21日夜着

第二八七號(館長符號扱)

(1) 本官發上海宛電報

第六一號

華北物價緊急對策要綱ノ實施狀況左ノ通りナリ

(一)今回ノ物價緊急對策要綱ハ華北ニ於テ全面的ニ低物價政策ヲ維持スルコトヲ目的トシ之カ爲第一次及第二次ノ二回ニ分チテ殆ント全商品(但シ農産品ノ或ル部分ヲ除ク)ノ適正價格ヲ決定公示シ以テ日華双方ノ商人ヲ矯正セントスルノ方針ヲ執レリ

(二)中央物資對策委員會ノ指令ニ基キ青島地方物資對策委員

會ハ第一次決定トシテ六月十日及二十二日ノ兩日ニ亘リ
石炭、鹽、棉券綿糸布、布帛製品石油類燐寸ノ七品種ニ
付其ノ卸賣及小賣價格合計一千九十七點ヲ決定シ邦商側
ハ領事館告示トシテ之ヲ施行シ支那商側ハ青島市公署ヨ
リ佈告セリ

(三)第二次告示ハ第一次決定ニ漏レタル殆ト全商品ニ付第一
次決定後一ヶ月目ニ決定公布ノ豫定ナリシモ今以テ中央
委員會ニ基準價格ノ通知無ク從テ今ノ處實施スヘキ日未
定ナリ

(四)前記六月十日及二十二日決定ノ卸賣價格ヲ青島地方ニ於
ケル六月十八日ノ支那側相場ニ比スルニ

石炭(代表品以下同前)(六割九分引下ケ)(以下同前)棉花⁽²⁾
(三五七分)綿糸(一五七分)綿布(九分)「ハンケチ」(五
割)「ネクタイ」(四割三分)「ワイシャツ」(二割九分)
綿靴下(六割八分)燐寸(七割)等ノ引下ケトナリ頗ル英斷
ナルカ其ノ後一箇月間ノ取引狀況ニ顧ミルニ當地方ニ關
スル限り現措置ハ甚シク行過キタリト稱セサルヲ得ス
(五)農産品中小麥、小麥粉、雜穀植物油及同原料ハ第一次價
格決定ヨリ除外セラレタルカ右ハ將來モ價格決定ヲ爲サ

ス「華北食料平衡倉庫」等ヲシテ市場操作ニ當ラシメ以
テ適正價格ヲ維持セントスル意嚮ナルモノノ如シ

(六)低物價政策維持ノ基本條件タル闇取引ノ取締ニ付テハ罰
則ニ依ルコトヲ避ケ輸入業者及卸賣業者ノミナラス小賣
業者ヲモ整理シテ其ノ數ヲ減シタル上之等ヲシテ組合ヲ
組織セシメ闇取引者ニ對シテハ配給ノ停止又ハ組合除名
等ヲ以テ臨ミ所謂組合ノ自肅ニ依リテ闇取引ヲ根絶スル
ノ方針ニ出テタルカ右配給機構ノ整備問題ハ當初緊急對
策要綱ノ立案者カ豫想シタルカ如ク容易ニハ進捗セサル
モノノ如ク目下北京ニ於テ折角努力中ナル趣ナルモ今以
テ目鼻付カサル狀況ナリトノ情報アリ六月十日及二十二
日ニ決定シタル適正價格ハ邦商ニ關スル限り領事館告示
ニ依リ嚴格ニ實施セラレツツアルモ支那商ニアリテハ必
スシモ之ヲ遵守セス闇取引橫行シツツアリ

大臣、南大、北大、天津、濟南ニ轉電セリ

(別電三)

青島 7月21日後発

本省 7月22日前着

第二八八號(館長符號扱)

本官發上海宛電報

第六二號

六月十日物價緊急對策要綱實施後今日迄約四十日間ニ於ケル各方面ノ物價變動左ノ通り

(一)最高價格ヲ設定セラレタル七品目ニ關スル支那側關相場ハ設定後一時引下ケラレテ公定價格ニ接近シタルカ間モ無ク引返シテ現在ハ價格設定前ノ關相場ニ返レリ

(二)市場操作ニ依リ適正價格ヲ維持スル豫定ナリシ小麥及雜穀ノ相場ハ六月末ヨリ急激ニ上騰シ七月十五日ノ相場ヲ六月十日ト比較スルニ小麥ノ三割七分騰貴ヲ始メ高粱、大豆、綠豆、粟等何レモ五割内外ノ騰貴ヲ示シ右ニ連レ小麥粉ノ關相場モ糧食販賣聯合會ノ公定相場ヲ三割方上廻ルニ到リ然モ之等ノ相場ハ先行更ニ上騰ノ氣配アリテ食糧問題ニ重大ナル暗影ヲ投シツツアリ

(三)當地有力華商ヨリ成ル華人生活必需品對策協議會(興亞院ノ諮問機關)ハ興亞院ノ諮問ニ對スル答申書中ニ前記小麥及ヒ雜穀等ノ急騰ニ付(イ)物價緊急對策ノ實施ニ依リ將來ノ價格ノ低落見越シタル商人ノ買控ニ依リ奧地ヨリ

ノ移入ナキコト(ロ)價格低落前ニ一刻モ早く他地へ移出セントシトシテ移出シタルコト(ハ)早く一ヶ月半ニ亘リ日日消費シタル量モ又相當ニ上リ在庫品ノ激減ヲ見タルコト(ニ)過般ノ小麥粉ノ品掠レニ依リ食糧不安感ヲ起シタルコト等ノ決定原因カ相重ナリ今回ノ急騰ヲ來シタル旨述ヘ居レリ

大臣、南大、北京、天津、濟南へ轉電セリ



261 昭和18年7月14日 大本營政府連絡會議了解

「對支緊急經濟施策ニ關スル件」

付記一 昭和十八年七月九日付、大東亜省作成

「支那經濟ノ緊急事態ニ付テ」

二 昭和十九年一月、政務局第二課作成、「對支緊急經濟施策」より抜粋

右了解に基づき發せられた訓令要旨及び同訓

令に基づく綿糸布強制買上実施の反響

●對支緊急經濟施策ニ關スル件

現下ノ定戰段階下ニ於テ諸般ノ關係上我國ノ對支物資期待

ノ要請愈々増大ヲ來セル反面現下ノ支那經濟カ却テ物價暴騰ヲ中心トシテ加速度的ニ破局ニ陥ラントスルノ様相ヲ露呈シアルノ實情ニ顧ミ此ノ際日華相協力シテ各般ニ亘リ應急の緊急措置ヲ迅速果敢ニ斷行シ以テ支那經濟ノ崩壞ヲ未然ニ防止シテ一面帝國經濟戰力ノ補給基盤ヲ擁護スルト共ニ他面「大東亞戰爭完遂ニ伴フ對支處理根本方針」ノ眞隨ニ基ク經濟施策ヲ實行スルモノトス

右根本方針ニ基キ此際日華協力シ左ノ緊急措置ヲ講スルモノトス

- 一、支那市場ニ於ケル綿糸布ノ強制買上
- (イ) 支那側カ現ニ囤積シアル綿糸布ニ付テハ國民政府ヲシテ適正價格ヲ以テ強制買上ヲ行ハシムルモノトス
- (ロ) 日本側手持ノ綿糸布ニ付テハ日本側機關ヲシテ(華中日本貿易聯合會ヲシテ行ハシムルコトヲ豫想ス)適正價格ヲ以テ買上ヲ行ハシムルモノトス

- (ハ) 前記(イ)及(ロ)ノ買上代價ノ支拂ニ付テハ之ニ依リ通貨増發ヲ來タザザル様各般ノ施策ヲ講スルモノトス
- (ニ) 買上ケタル綿糸布ハ日華協力シテ緊急物資取得ノ爲ノ見返リ物資トシテ有效適切ニ活用ス

二、金ノ現送

- (イ) 我國ヨリ金塊二十五匁ヲ限度トシテ中支及北支ニ現送スルモノトス

- (ロ) 右金塊ノ利用方法ハ之ヲ市場ニ賣却シ通貨回收ニ充ツルト共ニ前記一ノ支那側ノ綿糸布ノ強制買上ニ用フルコトアルモノトス

- (ハ) 右金塊ノ處理ニ依ツテ生スル差益ハ全額我國ノ爲替交易調整特別會計ノ歲入タラシムル如ク措置ス
- 追テ七・七禁制品等ノ對支輸出ヲ併セ實行ス

- 三、以上ノ措置ト併行シ囤積ノ取締ヲ強化シ米、綿糸布、金其ノ他ノ價格抑制ニ付キ日華協力シ強力ナル施策ヲ行フ
- 四、日華双方ノ資金放出ノ取締ヲ強化ス

- 五、政府財政ノ強化ノ爲國民政府ヲシテアラユル方策ヲ講セシメ我國モ之ニ全面的協力ヲ與フ

備考

支那通貨ニ關スル本格的對策ハ別途之ヲ策定ス

(付記一)

支那經濟ノ緊急事態ニ付テ

(一八、七、九)
大東亞省

支那ニ於ケル物價ハ漸次加速度的騰貴ヲ示シ、通貨ノ増發亦多額ニ上リ、多分ニ惡性インフレ的症狀ヲ呈シ來リタル處、本年上半期ニ入ルヤ北支及中支ニ於テハ其ノ傾向一層顯著ニシテ、特ニ最近ニ於ケル上海ヲ中心トスル物價ノ昂騰、通貨ノ増發ハ眞ニ惧ルベキモノアリ
全支經濟ノ破局ニ瀕セルヲ想ハシム。

物價ニ付テ之ヲ見レバ

北支ニ於テ小麥粉一袋昭和十一年三圓五十錢ノモノガ

十四年 六圓七十錢 十五年 十五圓

十七年六月 二十三圓

トナリ十八年一月ニハ公定相場ヲ二十五圓ニ定メタルモ闇相場ハ六十七圓ヲ唱ヘ

十八年三月 九十七圓 同五月 百五十圓

ニ昂騰セルガ六月ニハ小麥收買價格ノ決定ニ追隨シ百十圓程度ニ反落シ爾來小康ヲ保チ居ルモ、中支ノ物價騰貴ノ狀況如何ニ依リテハ反騰ヲ見ルベシト豫想セラル。

又中支ニ於テ綿糸一捆昭和十二年二百十八元(舊幣)ノモノ

ガ

十四年 五百十六元(同上)

十五年 千九十元(同上)

十六年十二月 二千四百元(同上)

十七年六月 五千三百元(新幣)

トナリ十七年十二月五千五百元ノ公定相場ヲ定メタルモ闇相場ハ

十八年一月 七千二百元 二月 九千七百元

三月 一萬六千元 四月 一萬九千元

六月 二萬八千五百元

ヲ唱ヘ、七月ニ入ルヤ更ニ急騰シテ七月三日三萬五千元ヲ唱フルニ至レリ。

中支ニ於ケル六月下旬以降ノ物價ノ急騰ハ綿糸ニ付右ノ如キ狀況ナルモ

米ニ付テ見レバ(百疋)

本年四月 千百元 六月 千六百八十元

七月三日 二千五百元(邦貨換算一升六圓五十錢)

但シ上海市内配給米ハ一市石四五〇元(百疋五百六十二元)

ト急騰ヲ示セリ。

次ニ通貨發行高ヲ檢討スルニ

儲備券ニ付テハ

昭和十七年末

三、六九六百萬圓

同 十八年三月末

四、八九五 ”

同 四月末

六、三二三 ”

同 五月末

七、五七一 ”

同 六月廿九日

九、一二二 ”

(欄外記入二)

ト三月以降毎月十二億元乃至十五億元ノ増發ヲ見來リ、之ガ前途深憂ニ堪エザルモノアリ。(六月中ノ通貨増發ハ十九億圓ニ達シコノ趨勢ヲ以テスレハ此ノ際何等カ特別ノ對策ヲ施スニ非レハ農產物ノ收買期ヲ控ヘ年末迄ニハ百億程度ノ増發ヲ見ルニ至ルベシ)

聯銀券ニ付テモ

本年六月十九日 一、八九七百萬圓ニ達シ

前年六月末 九四八百萬圓ニ對シ

約二倍ニ膨脹ヲ示シ居レリ。

斯ノ如キ物價及通貨ノ異常事態ハ當然他ノ總テノ經濟運營ニ尠カラサル支障ヲ與フルハ勿論、此ノ儘ニ放置センカ支

那經濟ハ收拾スベカラザル混亂ニ陥リ遂ニ全面的破綻ヲ來スコト必至ナラズヤト思料セラル

而シテ上述ノ如キ異常ナル物價騰貴、通貨増發ノ原因ガ奈邊ニ在リヤヲ檢討スルニ概ネ次ノ如シ

支那ニ於ケル最近ノ異常ナル物價騰貴ハ事變及戰爭ノ影響ニ因ル物資不足ト通貨ノ増發トヲ其ノ根本原因トスルモ、特ニ左ノ諸事情ガ其ノ主要ナル原因ヲ爲シ居ルモノト認メラル

(イ)食糧ノ供給不足

(ロ)供出物資ニ對スル裏付物資ノ供給不足

(ハ)通貨増發ト通貨不安竝ニ之ニ基ク換物思想ノ横溢

(ニ)囤積行爲ノ横行

(ホ)物資及物價統制ノ困難

(ヘ)支那民間ノ世界戰局ニ對スル確信ノ缺除

食糧ノ不足ハ獨リ食糧ノ價格ヲ騰貴セシムルニ止ラズ、生活費ノ增高、勞銀ノ昂騰ヲ促ス等各般ノ經濟運營ノ基礎條件ニ影響スルコト甚大ニシテ、又食糧價格ノ騰貴ハ人氣的ニモ一般物價上昇ノ導火線の役割ヲ演ジツツアリ

支那事變勃發前ニ於テモ支那ハ食糧輸入國ニシテ輸入糧穀

ハ支那ノ總輸入額ノ一割乃至一割五分ヲ占メ居リ、事變以來更ニ自給率低下セリ。就中北支ハ事變前其ノ主要食糧タル小麥粉ニ付テ四割餘、米ニ付テ三割餘ヲ輸入ニ仰ギ居リタル處、本年ノ如キハ外米ノ輸入不如意ノ爲甚シキ供給不足ノ狀況ニ陥リ（本年上期全支外米輸入計畫二十二萬噸ニ對シ実績十五萬噸）、數量ノ不足ト價格ノ暴騰トハ石灰、棉花等ノ重要物資ノ生産ニモ既ニ面白カラザル影響ヲ與ヘ居リ、棉花ノ如キハ食糧不足ノ爲著シキ減産ヲ豫想セラレ、石灰ニ付テモ最近生産量低下ノ傾向現ハレ居リ（本年六月ノ出炭量ハ豫定計畫ノ七〇%ニ止リ、我方ノ最モ期待スル中興炭ノ如キハ豫定計畫ニ對シ六五%ニ出炭量低下セリ）之等物資ノ對日供給減少ノ虞アルト同時ニ現地ノ物資不足狀況ヲ更ニ惡化セシムル點ニ於テモ憂慮ニ堪エズ。又南支各地ニ於テモ食糧ノ需給甚ダ逼迫シ居レリ

供出物資ニ對スル裏付物資ノ供給ヲ十分ナラシムル爲ニハ現地ノ生産増加及輸入ノ増進ヲ圖ルノ要アル處、現地ノ増産ハ素ト工業ノ發達モ十分ナラサルニ加ヘ、原料資材不足ノ結果、主要工業タル上海ノ紡績業ニ於テモ八割程度ノ操短ヲ餘儀ナクセラレ居レリ次ニ本邦其ノ他ノ地域ヨリノ

輸入増加ニ依ル裏付物資ノ供給増加ハ戰時下頗ル困難ニシテ之ヲ昭和十八年度ノ日支間交易計畫ニ付テ見ルニ支那ヨリ日本ヘノ輸入十三億圓（日本ノ輸入總額ノ四八%）

ニ對シ

日本ヨリ支那ヘノ輸出五億圓（日本ノ輸出總額ノ三一%）ナリ即チ日本ノ支那ニ期待スル所頗ル多キニ反シ、支那ノ日本ヨリ受クル所ハ其ノ半額ニモ足ラズ而シテ輸入ノ大部分ハ鐵、石灰、棉花、鹽、油脂原料、螢石、タングステンノ如キ物動物資ニシテ我戰力培養上不可缺ノ重要性ヲ有スルモノナリ

昭和十七年度ニ於ケル日支間交易ノ実績ハ

支那ヨリ日本ヘノ輸入 七億九千九百萬圓

日本ヨリ支那ヘノ輸出 五億三千五百萬圓

輸出入ノ「バランス」ハ二億六千四百萬圓ノ支那側輸出超過ニシテ現地通貨増發ノ原因ノ一ヲ爲セル所

前記本年度交易計畫ニ依レハ輸出入ノ「バランス」ハ實ニ八億圓ノ支那側出超ニシテ（北支五億三千萬圓、中支二億七千萬圓―儲備券換算十五億元）軍事費ノ現地放出ニ加フ

ルニ之カ爲巨額ノ現地通貨ノ増發ヲ見ルベシ
更ニ日本ヨリノ輸出五億圓ノ内

鑛工產物ノ開發等ニ主トシテ振向ラルヘキ

物動物資ガ三億三千萬圓ヲ占メ

一般通貨回收ニ役立ツヘキ

物動外物資ハ一億八千萬圓ニ過ギス

十八年度ノ對支輸出ガ計畫通り實行セラルトスルモ現地
ノ一般通貨回收ニ役立つベキ物資ハ交易ニ依ル現地通貨増
發ノ極メテ一小部分ニ過ギザルナリ(物動物資中ニモ多少
ノ一般消費用物資ヲ包含スルモ物動外物資ニシテ産業開發
關係ニ振向ケラルルモノ尠カラズ)

(尙昭和十七年度日本ヨリノ輸出ハ計畫七億四千四百萬圓、
實績五億三千五百萬圓、實績ハ計畫ノ七割)

斯クテ已ムヲ得ズ増發セラルル現地通貨ニ對シ物資ノ増產
増送ニ依ル裏付極メテ不十分ナル現狀ニ於テ何等カ特別ノ
措置ヲ講ズルニ非ザレバ加速度的インフレノ現象ヲ呈スル
ハ寧ロ當然ノ結果ナルベシ

而シテ反面通貨ノ増發及通貨不安ガ物價騰貴ヲ促シ居ルコ
トモ事實ニシテ通貨不安ニ付テハ世界戰局ノ見透ニ對スル

支那民間ノ確信缺除ノ影響等アリトスルモ通貨價值切下說
等ノ流布セラルルコトハ此ノ際嚴ニ之ヲ排除シ儲備券、聯
銀券等ノ價值堅持ニ付廣ク之ヲ再確認セシムルコト肝要ナ
リ

支那ニ於ケル物價騰貴ノ激化ハ現地軍自活用物資及對日供
給物資ノ價格昂騰トナリ、現在ノ如キ騰勢ヲ持續セル場合
ニ於テハ支那ニ於ケル我方軍事費ノ支出ハ既往ニ數倍スル
増額ヲ必要トシ、對日供給物資ノ價格調整ニ充ツベキ爲替
交易特別會計ノ支出亦巨額ヲ要スルニ至ルベシ(昭和十八
年度右特別會計歲出豫算十七億五千萬圓)

次ニ通貨膨脹ノ原因ヲ檢討スルニ

(イ)軍票發行廢止ニ伴フ儲備券ニ依ル我方軍費等ノ放出増加
(ロ)本邦ノ對支物資取得量ノ増大ニ因ル對日輸出入差額ノ増

大

(ハ)裏付物資ノ供給不足ニ基ク資金回收ノ不圓滑

(ニ)貯蓄ノ完全實行困難

等ヲ其ノ主ナルモノトス

試ミニ中支及北支ニ於ケル十八年度中ノ資金放出回收ノ豫
想ヲ樹ツルニ、今日迄實施シ又ハ目下ノ處實施セント計畫

シツツアル凡ユル資金回收策ガ百パーセント奏效スルトスルモ猶中北支共十五億乃至二十億圓程度ノ放出超過ヲ豫想セラレ、此ノ際特別ナル資金回收策ヲ講ズルニ非レバ、加速度的インフレ傾向ハ遂ニ停止スル所ヲ知ラザルニ至ルベシ

而シテ中支及北支ニ於ケル資金放出額中我方軍事費等ノ財政支出ガ其ノ相當部分ヲ占ムルノミナラズ、財政支出以外、對日供給物資ノ開發收買等ニ要スル資金ヲ含メ、我方所要資金ノ總額ニ付テ見ルニ

本年一月以降六月末迄ノ儲備券發行増加約五十四億元中
 儲備銀行正金銀行間預ケ合勘定ニ依ル本邦側放出資金ハ
 約四十億圓(約七割四分)(北支ニ於テモ略同様ノ狀況ニ
 在リ)

ニ達シ、支那ニ於ケル通貨増發ノ原因タル資金需要ノ大部分ハ本邦側ニ存スルノ實狀ナリ

(六) 月中儲備券發行高十九億圓中預ケ合ニ依ル資金放出
 十七億ニシテ九割ヲ占ム)

支那ニ於ケル物價騰貴、通貨増發ノ趨勢ハ數年前ヨリ相當顯著ナリシテ不拘、國民政府トシテ何等施ス所ナキ爲今日

ノ如キ事態ニ迄立到リタルカノ如キ觀方ヲ爲ス者無キニ非ザルモ、上述ノ如クインフレノ物資面ニ於ケル原因ノ最大ナルモノハ戰時中トハ云ヘ本邦ヨリノ裏付物資生産資材ノ輸出ノ減少竝ニ本邦ノ協力ニ依リテノミ可能ナル外米ノ輸入不足ニ在リ、又通貨面ヨリ見ルナラバ前記ノ如ク資金放出ノ大部分ハ本邦側ノ資金需要ニ基クモノナルニ顧ミルトキハ、未ダ弱體タルヲ免レザル國民政府ヲ育成強化シインフレ抑壓ノ爲凡ユル施策ヲ講ゼシムベキハ勿論ナルモ、我方ノ絶大ナル協力無クシテハ、十分效果ヲ擧ゲ得ザルコト、當然ノ事理ナリ

更ニ大東亞戰下我戰力ノ支那經濟資源ニ依存スル所頗ル大ニシテ支那經濟運営ノ不圓滑ハ直ニ我戰力ノ低下トナリ、之ガ全面的破綻ハ我戰力ニ致命的影響ヲ與フルノミナラズ、支那事變六年ノ成果モ一朝ニシテ消滅シ去ルヲ想フトキ、我方協力ノ如何ガ眞ニ重大ナル意義ヲ有スルコトヲ知ルヲ得ベシ。況ンヤ現下ノ戰局正ニ決戰段階ニ在ル今日、支那經濟ノ維持強化ハ一日モ之ヲ忽ニスルヲ得ザル所ナリ。

更ニ支那經濟ノ現狀ハ對支新方針ノ實行上ノ缺陷ヨリ生ズルモノトノ批判ヲ爲ス向モ無キニ非ル如キモ對支方針ノ轉

換以前ニ於テモ支那經濟ノインフレの症狀ハ相當深刻ノ度ヲ加ヘ來リ居リタルハ事實ナルノミナラズ、方針ノ轉換前ニ於テ今日ノ如キ物價急騰ノ情勢ヲ生ズルニ至リタリト假定セバ、方針轉換前ニ於ケル國民政府ト上海財界トノ間ノ疎隔、物資搬出入制限制度等ノ諸事情ハ事態ノ收拾ヲ一層困難ナラシメタルベシト思料ス。之ヲ要スルニ今日ノ支那經濟ノ狀態ハ如何ナル方針ニ據ルニモセヨ食糧其ノ他ノ物資不足トインフレニ對スル支那側對策ノ基礎トナルベキ手段ノ不足トノ本質的缺陷ヲ包藏シ居リ我方ノ之ニ對スル徹底的協力援助ナクシテハ事態ノ收拾殆ンド絶望ニ近シト謂フノ外ナシ。此ノ際我方トシテ爲シ得ル限り最大ノ協力ヲ與フルコトコソ今日ノ對支處理根本方針ノ眞髓ノ具現ナリト思料ス

從來支那經濟ニ對スル我方ノ協力措置ガ果シテ十分ナリシヤ否ヤハ大イニ反省ヲ要スル所ニシテ、特ニ一旦決定ヲ見タル施策ガ種々ノ事情アルニモセヨ、數ヶ月ヲ經ルモ未ダ實行ニ移サレザル例ノ如キ、又現地ニ於テ即時實施スベキ事項ニ對スル中央決定ノ遷延スル例ノ如キハ嚴ニ之ヲ改ムベキ所ナリ。特ニ戰局ノ決戰段階下ニ在ル今日、我方現在

又ハ將來ノ内外經濟施策上多少ノ不都合アリトスルモ、時機ヲ失フコトナク有效果敢ナル施策ヲ斷行シ、支那經濟ヲ破局ヘノ道ヨリ救出スルコト、即我戰力ノ維持増強ヲ確保スル所以ナリトノ認識ヲ徹底セシムルコト肝要ナリ

更ニ支那ニ於ケル諸般ノ經濟施策ヲ進ムルニ當リテハ對支新方針ニ基キ國民政府ノ育成強化ヲ圖リ支那側ノ創意ト責任トヲ活用シテ支那經濟ノ建設ヲ促進スルコトヲ目途トシ之ニ能フ限りノ協力ヲ爲スコトヲ根本方針ト爲スベキ處、支那經濟ノ建設途上ニ於テハ戰時下幾多ノ困難ニ逢着スルコトアルベク眞ニ日支提携協調シテ之ガ克服ニ全力ヲ盡スコト必要ナリ

今日ノ國民政府ハ未ダ弱體ニシテ我方ニ於テモ十分之ヲ鞭達指導スルノ要アルモ、常ニ彼ノ自立自彊ヲ目途トシテ各般ノ情勢乃至施策ニ關シ完全ニ彼ヲ納得セシメテ我方ト提携協調セシムルコト肝要ニシテ彼ノ行フベキ施策ニ關シ必要ナル手段ノ提供ヲ惜シミ乃至ハ十分ニ事情ヲ了解スベキ材料ヲ與ヘズシテ唯同調ヲ強ヒ弱體ヲ嘆ズルガ如キ態度ハ對支新方針ノ根本趣旨ニ副ハザルモ甚シキモノナリト云フベシ

現下ノ緊急事態ノ收拾ニ當リテモ此ノ點ニ深甚ナル配慮ヲ用ヒ支那側ヲシテ事態ヲ悉ク納得セシメ且又施策ニ必要ナル手段ニシテ我方ノ提供スベキモノハ十分之ヲ提供シ眞ニ日支提携緊密ナル協調ノ下ニ時艱ノ克服ニ邁進スルコト對支新方針ノ眞髓ヲ具現スル所以ナリトス

以下最近ニ於ケル支那經濟ノ緊急事態ニ對處スル爲、既定方針ニ據ル諸施策ノ外、特ニ緊急措置トシテ實行スベキ方策ニ付簡單ナル説明ヲ加フベシ

(以下省略)

(欄外記入一)

十六年十二月 二一、五〇

(欄外記入二)

七月三日 九、五五九

編 注 本付記文書及び次の付記文書は、財務省財政史室所蔵

「秋元文書」より採録。

(付記二)

大東亞大臣ノ在支大使及在北京公使ニ對スル訓令

本件對支緊急經濟施策ガ中央ニ於テ決定セラルルヤ、七月十四日青木大東亞大臣ヨリ南京谷大使及北京鹽澤公使ニ對シ右了解ヲ通達スルト共ニ、其ノ實施ニ關シ夫々左記ノ訓令發セラレタリ。

(一)南京谷大使宛訓令要旨

一、本件ハ其ノ前文ニ明示セラレ居ル如ク支那經濟ノ現狀ヲ直視シ、帝國トシテ重大ナル決意ヲ新ニシ、此ノ際最大ノ對華協力ヲ具現セントスルモノナルヲ以テ、國民政府ニ於テハ其ノ責任ヲ痛感シ、此ノ際一大決心ヲ以テ最後迄本措置ノ實效ヲ舉クル様最大努力ヲ傾注スル如ク國民政府側ノ注意ヲ喚起セラルルト共ニ、同政府鞭撻ニ遺憾ナキヲ期セラレ度シ。

二、金ノ現送ニ付テハ支那經濟ノ實情ニ著目シ、萬止ムヲ得サル措置トシテ帝國之ニ決定スルニ至レルモノナル處、帝國トシテハ大東亞全域ニ亘ル通貨制度ノ基本ハ飽迄モ管理通貨制ヲ堅持スヘキモノト確信シアリ、從而本件緊急措置ニ依リ支那側ヲシテ苟且ニモ金本位ニ對スル忘想ヲ抱カシムルカ如キハ嚴ニ戒ム處ニシテ、右見地ヨリ金ノ利用方法ニ付テハ中央トシテ苦心ノ存

スル處ナルヲ以テ、右御含ノ上支那側ノ指導ニ當ラレ度シ。

尙特ニ金ニ關シテハ實行策ノ決定前新聞等ニ漏洩スルコトナキ様留意アリ度ク、從ツテ本件ノ支那側トノ協議ニハ特ニ相手方ヲ限定スル等格別ノ配意アリ度シ。又本件ニ關スル公表ニ付テハ當方ト十分打合ノ上實行サレ度シ。

追テ金ノ現送方法等ニ付テハ當方ヨリ別ニ指示スル所アルヘシ。

三、右ノ外本件實施ニ關シテハ左記ニ依ラレ度シ。

(イ)綿糸布ノ買上及金ノ處理ニ關シテハ本省參與案ヲモ參考トシテ大至急具體案作成ノ上隨時請訓スルコト。

(一)平本

但シ□□其ノ他買上條件ハ寛大ニ失セサル様注意アリ度シ。

(ロ)囤積ノ取締強化ニ關シテハ事前ノ流出防止等ニ付萬全ノ準備ヲ爲シ、一舉ニ斷行スルニ非レハ效果ヲ舉クルコトヲ得サルヲ以テ此ノ點特ニ留意スルコト。

(ハ)日華双方ノ資金放出ノ取締ニ關シテハ速ニ之ヲ強化スルノ措置ヲ採ルコト。

(ニ)國民政府財政ノ強化ニ關シテハ差當リ鹽稅ノ引上及鹽債ノ値上ニ付至急大使館案連絡セラレ度シ。

(二)北京鹽澤公使宛訓令

對支緊急經濟施策ニ關スル在南京大使宛訓令ノ外左記ニ依リ處理セラレ度シ。

一、金ノ現送ニ關シテハ五匁ヲ北支ニ現送スル豫定ニシテ、其ノ處理ニ關シテハ左ノ(イ)及(ロ)ニ依ルヲ適當ト認メ居ル處、之ニ關シ格別ノ意見アラハ至急連絡スルコト。

(イ)現送シタル金ハ差當リ日銀所有ノ儘之ヲ正金天津支店ニ保有セシメ狀況ニ依リ市場ニ賣却スルコト。

(ロ)右金賣却操作ニ付テハ日支協力シテ之ヲ有效適切ナラシムル如ク適當ナル組織ヲ考慮スルコト。

尙金ノ賣却操作ニ付テハ上海市場ニ於ケル金相場トノ關係アルノミナラス特ニ差當リ中支ニ於ケル綿糸布強制買上處理ノ進捗ヲ見究ムルノ要アルヲ以テ、差當リ實施ヲ見送ルヲ適當トスヘク、賣却ノ期熟シタリト認メタルトキハ事務的ニ上海ト緊密ナル連絡ヲトリタル上本省ニ連絡スルコト。

三、七・七禁製品ノ對支輸出ニ關シテハ輸出可能ノ物品ニ

關シ當方ニ於テ具體的ニ調査進行中ナルヲ以テ、其ノ結果別ニ指示スヘキコト。

三、囤積ノ取締強化及價格ノ抑制ニ關シテハ概ネ從來ノ方針ニ依リ之カ徹底ヲ期スルコト。

四、日華双方ノ資金放出ノ取締ニ關シテハ速ニ適當之ヲ強化スルノ措置ヲ採ルコト。

五、政府財政ノ強化ノ爲必要ナル方策ニ付速ニ具體案ヲ作成連絡スルコト。

註 別ニ當時上京中ノ北京駐在鹽澤公使ニ對シ訓令ヲ發
(中略)
セラレタリ。

綿糸布強制買上實施ノ反響

八月九日綿糸布買上ニ關スル國民政府ノ諸法令公布ト共ニ國府ノ聲明發表サレ、本件措置實施ニ關スル斷乎タル決意ト周到ナル準備竝ニ日本側ノ全幅の協力態度ハ市民ニ好ク徹底シ、投機退藏及是等ニ對シ迷惑資金ヲ供給シ居タル群小新設會社錢莊等ハ勿論、一般市場ニ甚大ナル影響ヲ及ボシタル處、其ノ經過ハ順調ニシテ投機市場ハ壞滅ニ瀕シ、諸物價ハ一部ヲ除キ大體下押ノ狀態ヲ示セリ。

然シ乍ラ買上實施カ其ノ事務手續等ノ關係上相當ノ遲延ヲ免レサルコト、買上ハ綿糸布ニ止マルコト等ノ投機筋ノ觀測ハ綿糸布ヲ除ク諸商品ノ下瀝リ狀態ヲ示シ、茲ニ上海投機資本ノ性格カ明確ニ窺知サレタル次第ニシテ、蠟燭、石鹼、燐寸、砂糖其ノ他ノ囤積物資ニモ強制買上手續ノ準備カ必要ト認メラレ居レリ。

今綿糸布買上ノ反響ニ關シ八月二十一日上海大使館事務所ニ於テ調査セル要旨ヲ示セハ左ノ如シ。

一、群小金融機關ニ與ヘタル影響ハ多大ニシテ、從來投機囤積ノ事實上ノ背景トシテ豫テ綿糸布等ノ囤積物資ヲ擔保物件トシテ無軌道ナル融資活動ヲ行ヘル銀行錢莊等ハ著シク苦境ニ陥リ、江浙企業銀行ハ早くモ休業シ、其ノ他八月十四日現在ニ於テ全康銀行、中國布業銀行、瑞華銀行、永康銀行、大亞銀行、民生銀行、上海綢業銀行、中國實業銀行、紗業銀行ノ如キ群小金融機關ハ營業困難トナリ金融ハ一般ニ抑留ノ硬塞ヲ呈シ、且ツ上海以外主要都市ニ於ケル金融機關ニ對スル影響モ右ト同様ニシテ、各地錢莊ニシテ閉店スルモノ相當續出ノ狀態ナリ。

二、一般民心ニ與ヘタル影響ハ國民政府ノ英斷ニ對シ全面的

ニ支持ヲ表明シ居リ極メテ良好ナリ、綿糸布囤積者カ社會的有力者又ハ政府要人中ニ多キニ鑑ミ、當局ノ公平ナル措置ヲ希望シ居リ、當局ニシテ今回ノ措置ニ成功スルニ於テハ人民ノ國府ニ對スル信賴ハ著シク増大スルモノ見ラレ

三、綿糸布ノ價格低落ニ比シ他商品ノ物價ハ保合又ハ下溢リノ狀態ヲ呈シ、買上條例發布後ニ於ケル化學藥品ノ昂騰振ハ特ニ著シキ處、右ハ綿糸布ノ面ヨリ閉出サレタル囤積資本カ他商品ノ面ヘ移行セルコトヲ示セルモノニシテ、尙綿糸布ノ集中的囤積ヨリ零細の囤積ヘノ傾向漸ク顯レ來レリ。

四、本件ハ戰時下中支經濟ノ混亂ヲ解決スル最後の切札トシテ各方面ヨリノ期待モ大ニシテ、今次ノ物價昂騰抑制ニ關シ從來執リ來レル諸方策ノ原因ハ一ツニ當局ノ不徹底ニ因ルモノト見做サレ又囤積カ當局ノコノ不徹底ノ間隙ニ乘シ行ハレタルニ鑑ミ、更ニ其ノ不徹底ヲ見越シ未登錄綿糸布ノ賣逃ヲ策セル事實ヲ考慮シテ、コノ重大ナル意義ヲ持ツ法規ノ實施ニ當ツテ前車ノ轍ヲ廢シ、徹底のニ實施スルノミナラス、其ノ配給ノ適正且ツ緊急ナル措

置竝ニ進ンテ囤積物資品目及地域ノ擴張等ヲ必要トスヘシ。

262

昭和18年9月4日

重光外務大臣
在本邦蔡培中国大使 會談

上海の經濟情勢などに関する重光外相と蔡培

大使との會談

昭和十八年九月四日

調査三課 山本書記生

重光大臣蔡培大使會談要領

昨九月三日午后四時蔡培大使官邸ニ重光大臣ヲ來訪左記會談ヲ爲シ同四時四十分辭去セリ

大使 自分ハ本月二十二日頃當地發一時歸朝ノ豫定ニ付汪主席ヘ傳フヘキコト等アラハ御申聞被下度シ

大臣 御話致度キコトハ多々アルモ御出發迄ニハ尙餘裕アルニ付何レ篤ト御話スル機會ヲ作ルヘシ

大使 、、、、、

大臣 本月十二日非公式ニ貴大使竝ニ夏公使ヲ御招待申上度處御都合如何

大使 夏公使ハ近日中ニ北京へ出張スルコトナリ居リ遺憾乍ラ十二日迄ニハ歸任シ難シト存スルモ自分ハ間違ナク出席致スヘシ

尙自分モ出發前大體十六、七日頃貴大臣ヲ御招キ致度キモ御差支無之ヤ

大臣 今ノ處差支ナシ

大使 曩ニ中村公使ヲ通シ貴國外政協會ト敝國外交協會トノ間ニ密接ナル連絡ヲ執リ度旨ノ申出アリ早速手配シタル處折返シ外交協會長吳凱聲ヨリ極メテ贊成ニシテ委細書翰ニ依ルヘキ旨返電越シタルカ未ニ右書翰ヲ接到シ居ラス過日同公使ヨリ本件ニ關シ問合セアリタルヲ以テ自分カ歸朝ノ際直接吳氏ト面談スヘキ旨答置キタリ

大臣 貴大使ノ歸朝ハ特別ノ用件ニ依ルモノナリヤ

大使 特別ノ用件ナク最初赴任ノ際大體三ヶ月後ニ一度事務報告ヲ兼ネ歸朝スルコトニ諒解ヲ付ケ置キタル爲ナリ
大臣 上海ヲ中心トスル經濟問題ハ甘ク行キ居リヤ又物價ハ低落セリヤ

大使 本件ハ仲々ノ難問題ニシテ相當日數ヲ要スヘク一朝一夕ニハ甘ク行カサルヘシ又綿糸布ノ強制買上ニ依リ今

ノ處綿糸布ノミハ大中ニ低落セルモ未タ一般物價力之ニ伴ヒ低落ノ傾向ヲ示スニ至ラサルモノノ如シ

大臣 自分ノ考ニテハ日本側ハ經濟問題等ニ關シ全力ヲ擧ケ居ルモ之ニ反シ貴國側ハ熱意ニ缺ケ居ルカ如シ

大使 政府側ニ於テハ決シテ熱意ニ缺ケ居ラサルモ最モ遺憾ナルハ如何ニ笛ヲ吹ケトモ民衆力跳ラサルコトナリ

大臣 政府側ノミナラス民間側モ不熱心ナリト思考ス

大使 現在ノ國民政府ハ國民黨系ナルヲ以テ民間有力者ハ黨派的關係ヨリ合作ヲ欲セサルモノアリ又利己のニ合作セサル者モアリ極メテ遺憾ナリ

大臣 之ニ對處スヘキ御意見如何

大使 何ヨリモ民心ヲ把握スル事肝要ナルヲ以テ衆望ヲ擔ヒ且相當ノ地位ニアル者ヲシテ講演其ノ他ノ方法ニ依リ直接民衆ニ呼掛ケ他面租界モ完全ニ回收セラレタルヲ以テ是等租界ニ立籠リ居リタル財界民間ノ有力者ノ面子ヲ立テ汪主席自ラ出馬シテ懇談シ公式ニ其ノ援助ヲ求メ又非公式ニハ政府要人カ私的ニ交際アル者ヲ個々ニ説得スルコトモ一策カト存ス

大臣 極メテ結構ナラン尙新政策ニ對スル反對ナキヤ

大使 今次綿糸布ノ強制買上ニ依リ一包三萬數千元セルモノカ一萬元ニ低落シ而モ内半金ハ一年内ニ渡シ残りノ半額ハ三年ニ分チ支給スル等ノ爲一部ニハ反感ヲ抱キ居ル向アルヘキモ左シタル心配ナキモノト存ス

大臣 、、、、。

大使 許修直ヨリノ書翰ニ依レハ渡日ニ關シ華北政務委員會ト打合セタル處委員會側ニテハ何等異存ナク日本側ヨリ承諾ノ通知アレハ差支ナキ旨述ヘタル由ナリ

尙一行八十名ニシテ書、畫家ノミナリ

大臣 本件ニ關シテハ北京土田參事官ニ話濟ミナルモ必要ニ依リテハ當方ヨリモ直接電報スヘシ

大使 宜敷シク御配慮願度シ

大臣 十二日ハ少シ早メ二十一時頃私邸ノ方ヘ御出テアリ度田舎ヘ御案内スヘシ

大使 間違ナク參上スヘシ

以上

263

昭和19年4月19日 青木大東亜大臣より
在中国谷大使宛(電報)

中国における容易ならざる事態に鑑み各種緊急措置実施方訓令

本省 4月19日発

戦局ハ愈々緊迫シ茲數ヶ月ノ戦勢ノ歸趨ハ實ニ帝國ノ隆替ニ重大關係ヲ招來スベキ段階ニ突入セル處特ニ支那方面ニアリテハ在支米空軍ノ活動ト重慶及中共側ノ策動ハ最近益々積極化シ、民心ノ動搖、治安ノ惡化、生産ノ減退、輸送ノ難澁、通貨ノ増發、物價ノ急騰、物資取得ノ困難等事態ハ眞ニ容易ナラザルモノアリ之ニ伴ヒ在支皇軍ノ重要任務ト相俟テ大東亞省機關ノ責務ハ愈々重大ヲ加ヘ來レル次第ナリ

此ノ間ニアリテ帝國ノ對支國策ノ大本ハ御承知ノ通「大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支處理根本方針」ニ於テ確立シ右根本方針ノ堅持セラルベキハ勿論ナル處前記事態ニ對應シ緊急措置ヲ要スルモノ尠カラズ出先各館ニ於テ折角苦心努力中ナルハ諒知スル所ナルモ此ノ際全員一層奮勵周到ナル對策ヲ講ジ軍ト密ニ協力シテ決戰段階ヲ突破スル爲現地施策ニ遺憾ナカラシムル様御配意相成度

尙此ノ際緊急措置スベキ事項ハ各館各地ノ情況ニ依リ種々

アルベキモ特ニ左記諸項ニ付テハ緊急具體的對策ヲ講ズルノ要アリ

一、治安惡化ニ對スル警防的自衛措置(五月中旬ニ完了)

敵ノ空爆、重慶中共側匪軍ノゲリラ戰ニ對スル防衛、敵側特務工作ニ對スル防遏、局部的ニ惹起ヲ豫想セラルル民衆ノ罷業暴動豫防對策等ニ關シ民團、民會、各種重要機關等ノ警防的自衛對策ヲ講ズルト共ニ工場事業場等ノ善隣工作ヲ強化スル等萬全ノ準備ヲ講ゼシメ又勞務管理ニ留意シ特ニ重點產業勞務者ノ定着確保ニ周到ナル對策ヲ講ゼシムルコト

尙右ニ呼應シ支那側ヲシテ同一目的ノ爲適當ノ措置ヲ講ゼシムルト共ニ各地毎ニ日華善隣工作ヲ積極化スル如ク措置スルコト

二、各公館ノ決戰態勢整備確立(五月中旬迄ニ完了)

イ、大使館、大使館事務所、總領事館及領事館ハ緊切ナル時局ノ要請ニ應ズル如ク各業務運營ノ全般ニ互リ特ニ重點任務ニ徹底シ得ル如ク決戰態勢ヲ整備確立各公館業務運營ニ對シ效果的ナル考查(査察)ヲ施行スル爲大使ニ於テ適當ノ措置ヲ講ズルコト

ロ、大使館ト國民政府經濟顧問トノ一體的活動ノ方途ヲ講ジ國民政府ニ對スル指導、協力ヲ一體化スルノ實ヲ舉グルコト

ハ、大使館事務所ノ業務中經濟關係事項就中物資取得ニ關スル事務ノ綜合的處理ニ付遺憾ナキヲ期スル爲特段ノ工夫ヲ加フルモノトシ殊ニ上海大使館事務所ニ付テハ南京大使館及軍トノ關係ヲモ考慮ニ入レ速ニ所要ノ措置ヲ講ズルコト

ニ、總領事館、領事館ノ業務中特ニ經濟關係事項ノ現地處理ニ付遺憾ナキヲ期スル爲所要ノ措置ヲ講ズルコト

三、軍トノ連絡ノ緊密化(五月上旬迄ニ措置)

物資取得等ニ關シ陸海軍ニ緊密ニ連絡シ指導ノ一體化ヲ確立スル如ク所要ノ措置ヲ講ズルコト

四、輸送力ノ徹底的動員活用(五月末迄ニ措置)

輸送力ノ低下防止ニ萬般ノ措置ヲ講ズルモノトシ特ニ支那側ニ相當ノ利潤ヲ與フル等ノ措置ニ依リ各種輸送力ノ活用ヲ促進スル如ク左ノ措置ヲ講ズルコト

イ、民船ニ依ル長江及內河水運ノ利用(大運河ノ改修ハ速ニ促進ス)

ロ、機帆船、戎克ニ依ル青島、海州、上海間ノ石炭鹽等ノ輸送促進

ハ、航行制限ノ緩和

五、輕工業振興方策（五月上旬迄ニ措置）

通貨ノ回收ヲ圖ルト共ニ對日供給物資、軍現地自活物資確保ノ爲ノ見返物資ノ生産増強ニ必要ナル輕工業ノ強力ナル推進ヲ期スルモノトシ特ニ上海方面ニ於テハ大使館事務所ニ軍ト緊密ナル連繫ヲ有スル輕工業推進本部（假稱）ノ如キ機構ヲ整備シ石炭其他ノ原材料及製品ノ需給配分ノ爲ノ一元的指導ニ遺憾ナカラシムルコト

右ニ呼應シ支那側ニ於テモ適當ノ推進機關ヲ設ケシメ日華緊密協力ノ下ニ極力實績ヲ擧ゲシムル如ク配意スルコト

六、物資出廻促進對策（逐次施策）

イ、公定價格制ノ改廢、日支軍官民ヲ通ズル適正價格ニ依ル收買ノ勵行、收買價格ノ公表取止等ニ依リ機動性アル彈力的價格政策ヲ採用シ例ヘバ商統會下部機構同業公會等ノ自治的協定價格制ノ運用等ニ依リ物資出廻ヲ促進スルコト

ロ、商統會機構ニ付テハ概ネ貴方ニ於テ研究中ノ方向ニ依リ特ニ其ノ下部機構ノ活潑ナル運営ヲ見ル如ク改組スルコト

ハ、物資移動制限緩和ノ措置ヲ講ズルコト

ニ、前記イノ措置ニ依ル見返物資製造ノ成果ニ照應シ之ガ使用割合ヲ擴大スルト共ニ之ガ效果の活用ヲ期スルコト

七、通貨價值維持ニ關スル對策（六月末ヲ目標ニ逐次措置）

金ノ効率高キ活用、預合協定ノ改訂等ノ外從來實施シ來レル通貨回收並放出調整ニ關スル對策ヲ一層推進シ特ニ例ヘバ國策會社子會社ノ株式社債ノ支那側開放等ニ依ル支那側遊資ノ吸收ニ努ムルモノトシ前記輕工業振興方策等ノ採用等ト併行シ資本ノ企業部面ヘノ誘導ヲ促進スル如ク積極的の方途ヲ講ズルコト

以上ハ差當リ緊急措置ヲ要スル事項ノ要目ト之ガ處理目標ノ着想ヲ示セルモノニシテ具體的措置ニ關シテハ各事項ニ依リ各地ノ事情ニ應ズル如ク貴大使ニ於テ適宜指示相成ルコトト致度又右ノ中ニハ軍トノ協議ヲ要スルモノ尠ナカラザルニ付至急現地陸海軍ト所要ノ連絡ヲ執リ措置セラレ度

細部ノ事項ニ關シテハ別途必要ニ應ジ當方ヨリ更ニ連絡スルコトト致度キモ貴方ニ於ケル具體措置ノ成案ハ逐一當方ニ連絡相成度

轉電先 張家口、北京、上海、廣東

編 注 電報番号は明記されていないが、第三二四号と思われる。

本文書は財務省財政史室所蔵「秋元文書」より採録。

~~~~~

264 昭和19年4月28日 青木大東亜大臣より  
在中国谷大使宛(電報)

### 中国における通貨価値維持のための諸施策に

#### つき訓令

付 記 昭和十九年十一月、結城(豊太郎)内閣顧問作成

「對支諸問題ニ付テ」

本省 4月28日前11時発

第三三八號

往電第三一四號ニ關シ

通貨價值維持ニ關シテハ先般ノ閣議決定ニ依リテ帝國ノ方針ハ一層明確ニセラレタル次第ナルカ通貨ノ價值維持ノ具

體的對策トシテハ各種生活必需物資生産増強ヲ以テ根本トスルコト固ヨリナルカ通貨面ニ於テモ左ノ各項ニ依リ從來實施シ來レル對策ヲ再檢討シテ現下ノ事態ニ適應スル如ク推進シ凡ユル努力ト工夫トヲ以テ極力支那側ヲ支援鞭撻シテ各般ノ施策ノ有效適切ナル運用ニ遺憾ナキヲ期セラレ度

ハ通貨回收方策ノ推進

#### (一) 金及金製品ノ賣却

(イ) 既ニ上海ニ現送濟ノ市場操作用金ハ金融市場ノ狀況ト睨ミ合セ時期及價格ノ兩面ニ於テ最モ有效且積極的ニ之ヲ賣却スルコト(未現送分ハ輸送ノ都合上豫定ヨリ現送遲延シ居ルモ十日乃至一週間後ニハ現送シ得ル見込ナルカ若シモ猶遲延スル場合ハ一昃半ノ金塊ヲ儲備所有ノ金條ト交換シ賣却スルコト)

(ロ) 本大臣發大使宛第二九九號ヲ以テ當時大使限リノ御含ミトシテ連絡セル金ハ全量ヲ上海金條ニ改鑄スルモノトシ逐次上海宛現送スヘキモ之カ處理ハ概ネ現在ノ操作用金ト同様トスルコトニ内定シ居レリ

(ハ) 金ノ賣却方針ニ關シテハ金操作委員會ニ於ケル日本側委員ノ意見ハ妥當ト認メラル

(二)金銀運營會ノ上海向賣却用金「メダル」モ近ク發送スヘキニ付運營會出張員其ノ他ヲ適當指導シ最モ效率的ナル活用ヲ圖ルコト

(二)儲蓄運動ノ推進

日支双方ヲ通シ從來行ヒ來レル有獎定期儲蓄、彩票、生命保險等ニ依ル儲蓄運動ヲ強化スルコト

但シ支那側儲蓄運動ニ付テハ委員會等ノ機構ノ形式的整備ニ墮スルコトナク支那人ニ適當スル如キ仕組ヲ工夫スル様指導スルコト肝要ナルコト

尙日本國債ノ消化ハ邦人中小業者及個人ヲ主タル對象トシテ活潑ニ行ヒ支那側ニ對シテモ希望ニ應シ賣却スルヲ妨ケス又國民政府公債、開發振興兩社現地社債等モ備蓄ノ對象トシテ活用ニ努ムルコト

(三)其ノ他ノ通貨回收方策

(イ)當方ヨリハ事情ノ許ス限り七、七禁制品其ノ他特殊消費物資ノ輸出ニ努ムルニ付之等輸入物資ヲ通貨回收ニ活用スルコト尙帝國以外ノ各地域トノ物資交流ニ關シテモ輸送手段ノ許ス限り一般物資ノ交流ニモ努メ通貨回收ニ資スルコト

(ロ)開發振興兩社關係會社株式ノ一部ヲ支那側民間ニ解放スルノ外投資意欲ヲ吸引スルニ足ル利潤ノ賦與ニ依リ商業部門ヨリ生産部門ヘノ資本ノ吸收ニ努ムルコト

(ハ)金利政策運用上通貨回收ニ資スル如ク一層配意スルコト

(ニ)餘剩購買力ノ吸收ヲ目標トスル租稅ノ増徴ヲ圖ルコト

尙英米「トラスト」ノ處理ヲ中心トスル烟草事業ノ整備ニ關シテハ中央ニ於テ銳意策案進行中ナルヲ以テ之カ決定實施ニ至ル迄ハ概ネ現在ノ組織ノ下ニ於テ通貨回收促進ノ見地ヨリモ之カ適切ナル運營ニ努ムルコト

三、通貨放出ノ調整

(一)資金調整及經理統制ノ運用

支那側ニ於ケル金融機關濫設抑制、金融機關ノ検査、投機囤積資金貸出取締等ノ措置ヲ續行セシムルノ外帝國側ニ於テモ資金調整及經理統制ノ適切ナル運用ヲ期スルコト

尙經理統制ニ關シテハ帝國内ニ本社ヲ有スルモノノ支那ニ於ケル營業ニ對シテハ帝國經理統制令ノ適用ハ現地ニハ之ヲ及ホササルコトニ内定シ近ク右ニ關シ指示スヘキコト

又日支間預ケ合協定ノ改訂ニ關聯シ帝國側銀行ニ付テハ自己資金ノ蓄積増強ニ努ムルノ方針ヲ一層強化スル一面儲備又ハ聯銀側トシテハ一般資金調整ニ付金利上其ノ他適切ナル措置ヲ講スルコト

(二)對日送金ノ規制ニ關シテハ近ク別ニ指示スル所アルヘキモ現地ニ於ケル蓄積資金ノ效率的使用ヲ圖ル見地ヨリ之カ運用ノ適切ヲ期スルコト

三、其ノ他

支那通貨ノ價值維持ニ惡影響ヲ及ホス如キ言説ハ嚴ニ之ヲ取締ルコト

轉電先 張大、北大、上大、廣大

上海へ轉報アリタシ

編注 本文書及び次の付記文書は、財務省財政史室所蔵「秋

元文書」より採録。

# (付記)

昭和十九年十一月

對支諸問題ニ付テ

(欄外記入)

十月十一日福岡カラ空路渡支、南京、鎮江、上海、蘇州、北京、唐山、天津、大同、張家口ノ各地ヲ歴訪シ、中國側當局主腦者、日本側現地軍官當局主腦者、中國側民間財界其ノ他各界有力者、日本側現地經濟關係有力者ト會見懇談スルト共ニ、各地ノ主ナル施設ヲ視察シ、歸途滿洲國ニ入り大連、鞍山、奉天、新京ヲ經テ京城ニ到リ其ノ間各地ニ於ケル滿洲又ハ日本側有力者トモ會見懇談シ十一月十一日京城ヨリ空路東京ニ歸着、約一ケ月ニ亘ル旅行ヲ終ヘタノデアルガ、其ノ間ニ於テ視察シタル諸事情ニ關シ以下其ノ概要ヲ申述ベテ御報告ニ代ヘ、併セテ今後對支施策トシテ實施スベキ重要事項ニ關シ些カ卑見ヲ申述ベテ御參考ニ供スル次第デアル

第一 中國ニ於ケル政情概況ト對策

(一)要旨

(1) 國民政府ノ現状ハ庶政一新ヲ要スル事態ニ到達シテ居ル。  
國民政府ノ指導精神ノ再檢討ガ要望セラル。

憲政實施、人材內閣ノ成立民黨發表機關ノ設置等ガ考慮セラル。

(2) 延安政權ハ華北ニ牢固タル地位ヲ確立シ更ニ華中華南ニ進出セントシ重大ナル形勢ニアル。

延安政權ト我方トノ妥協ハ不可能デアル。善政ヲ布キテ民心ヲ安ンジ武力ニ依リテ共匪ヲ討伐スルヨリ途ハナイ。  
(3) 重慶政權ノ抗日ノ大勢ハ未ダ轉回ノ時期ニ達シテ居ラズ蘇聯邦ノ脅威、中共軍ノ跳梁、米國ノ內政干涉ノ増大及南支方面ノ作戰ノ失敗等ハ重慶內部ニ動搖ヲ來タシツツアルコトハ注目スベキ事實デアル。

## (二) 説明

### (1) 國民政府ノ政情

今日ノ支那ハ將ニ天下三分ノ形勢デアツテ、江蘇浙江安徽ヲ基幹トスル南京政府、陝西甘肅寧夏ノ邊區ニ根據ヲ置キタルモ今ヤ殆ンド華北全土ヲ席捲シ華中ニ一大勢力ヲ占メ更ニ華南ニ進出セントセル形勢ニアル延安政權ト、其ノ他ノ廣大ナル支那ヲ支配シテ居ル重慶政權ガ、互ニ

鎬ヲ削ツテ爭ツテ居ルノガ現状デアル。

南京政權ハ國民黨ノ正統ヲ繼グモノハ南京政府ナリトシ、和平反共ヲ指導精神トシテ政府ヲ樹立シ、日本ノ援助ニ依リテ租界ノ返還治外法權ノ撤廢ヲ實現シ、日華同盟條約ノ締結ニ依リテ國際的地位ヲ昂上シテ來タガ、他方國內ニ於ケル地位ハ建國ノ目標タル全面和平ノ招來ハ甚ダ困難ヲ増大シ來リテ前途ニ光明ナク、又物價高ニ依ル治下國民ノ生活難ハ一日一日ト深刻化シ來リ、歐洲及太平洋戰局ノ影響ヲ受ケ、汪主席ノ逝去等ノ爲メニ國民政府ニ對スル期待ハ漸次薄ラギツアルハ遺憾ナル事實デアル。然レドモ日本ガ強力ナル支援ヲ國民政府ニ與ヘテ居ルコトハ、其ノ地盤ガ中國ノ最も豐富ナ揚子江地帶ニアルコトト相待ツテ、內政ノ運用善ロシキヲ得バ將來最有望ナル地位ヲ獲得シ得ル可能性ガアル。

和平反共建國及新國民運動等、國民ヲ導ク指導精神トシテハ其ノ當時ニ於テ適切ナリシモ、今ヤ汪主席モ逝去セラレ陳公博氏ニ於テ後繼者トナリタル際ナレバ、國民運動ノ標識ヲ新ニスル必要ガアル。目標ノ何タルカニ付キテハ慎重研究ヲ要ス

標識ヲ新ニスルト共ニ政府ノ政策ニ於テモ力強キモノヲ必要トス。例ヘバ憲政ノ實施、各黨各派ヲ包擁スル新内閣ノ成立參政會の機關ヲ設置シ民意發表ノ機會ヲ與フル等ヲ考慮スルコトガ出來ル。

## (2) 延安政權ノ近情

延安政權ノ地盤デアル北邊ノ本據ハ重慶軍ニ封鎖セラレテ居ルガ、華北ニ進出シタ第八路軍ハ日本軍ガ重慶軍ヲ放逐シタル跡ヲ占據シ、所謂廉潔政治ヲ行ヒテ華北華中方面ニ着々地歩ヲ固メ來リ、更ニ華南ニ迄進出セントスル形勢ニアリ。目下ノ狙ヒドロハ上海ノ周邊ヲ遠卷ニシツツ、他日彼等ノ所期スル國際情勢ノ變化ノ到來シタル場合ニハ、上海ヲ其ノ手ニ治メントスル方針ヲ執リツツアル様デアル。

延安ト日本トノ關係ニツキテ、根本的ナ了解ハ勿論假令一時的ニセヨ妥協ナドハ絕對不可能ト考ヘラレル。蓋シ華北ノ地盤ハ共產軍ノ生活ノ本據ニシテ、日本軍トノ關係ハ喰フカ喰ハレルカノ深刻ナ鬭爭デアリ、抗日ヲ一時のニセヨ停止スルコトハ延安ノ指導精神ノ死滅デアル。第八路軍ハ華北ノ民心ヲ把握シテ居ルコトハ大體事實デ

アルガ、勢力ノ増大スルニ連レテ幾多ノ不良分子モ其ノ傘下ニ集リテ、最近デハ掠奪強姦等ノ行爲モ屢々行ハレ弱點モ亦暴露セラルル様ニナツテ來タ、中共軍ハ對重慶トノ妥協ヲ有利ニ導カント米國ニ呼びカケ居ル様子デアリ、國共合作ヲ支持スル「スチユエル」ノ態度ハ重慶ノ内部關係ヲ一層複雑ニシタ模様デアル。

延安政權ノ華北方面ニ於ケル勢力ハ、我方ノ大東亞戰爭遂行ノ爲物資ノ調辦ガ深刻化シ、華北經濟急迫シ來レルニ加ヘ、我兵力ノ他ニ轉用セラルルモノ多キ爲メ、鄉鎮ヨリ縣城ニ至ル小運送、又ハ縣城ヨリ鐵道沿線ニ至ル運送ヲ襲フ事件増加シ、守備隊ハ物資蒐集ノ保護又ハ討伐ニ忙殺セラレ居ル有様デアル。延安政權ノ勢力範圍ハ益々擴大セラレテ來タ。

對延安政權策トシテハ、我方トシテハ自カラ善政モ布キ、又親日政權ヲシテ善政ヲ布カシメ民心ヲ集ムル外、兵力ヲ増加シテ新政權ノ勢力ヲ末端迄滲透セシムルヨウ努力スルヨリ策ガナイ。

## (3) 重慶政權ノ近情

重慶政權ノ主流ハ依然抗日ヲ轉換スル環境ニハ達シテ居

ラス。反樞軸軍ノ勝利ヲ盲信シ、國內ノ各種ノ不平ヲ抗日デ押ヘテ來タ重慶政權ノ主腦部ハ騎虎ノ勢ニ乗ツテ居ルノデ、今日此レガ方向ノ轉換ハ容易ノコトデナイ。重慶ト日本ガ和平スルコトガ直ニ支那ニ和平ヲ齎ラスモノナラバ格別ナルモ、直ニ米英トノ新シキ戰爭ヲ招來スルコトニナルノdealカラ、前途ニ對スル餘程ノ確信ガ生レナイ限り、又内政上氣運が起ラナイ限り出來ヌコトdeal。今日ハ其ノ時機デハナイ。タダ蘇聯邦ノ脅威ガ増大シ、又米國ノ援助ノ加ハルニ連レテ内政干渉が加ハリ、他方河南湖南方面ノ作戰が大失敗ニ終ツタ等ノ原因ノ爲メニ、重慶内部ニ動搖ヲ來タシツアルコトハ注目スベキ形勢deal。

以上蘇聯ノ脅威ニ對スル關心ニ關シ重慶方面ト連絡ノアル上海在住ノ某有力者モ、支那ハ從來以來夷制夷ノ政策ヲトリテ常ニ日本ヲ牽制シテ來タガ、重慶ノ希望スルガ如ク日本ガ敗北シタ後ニ蘇聯ハ重慶ヲ日本勢力ノ唯一ノ繼承者トシテ默ツテ承認スル様ナコトハナイ。必ズ支那ニ重大ナ壓迫ヲ加ヘテ來ル。此ノ際ニ米國ニ依存シテ蘇聯ノ壓迫ヲ緩和シヤウトシテモ不可能ナコトdeal。日

本ナキ後ノ支那ハ米英蘇ノ殖民地ニ過ギナイ。日本ヲ滅亡サセテハナラヌト蔣介石ニ直接進言シタ趣デアツテ、蔣介石ノ長子蔣經國モ同様ナ考ヲ持ツテ居ル由deal。共產系ノ新四軍ガ上海周邊ニ集マリ、他日日本が大敗ヲ喫シタ場合ニハ上海ヲ自分ノ手ニ治メント準備シ居ル模様dealガ、重慶方面デハ之レヲ重要視シテ反共系ハ南京政府ニ連絡ヲ打診シテ來タ事實ガアル。又湖南作戰ノ失敗ニ依リテ抗戰ノ前途ニ失望シ、自力更生ノ方向ニ轉ジャウトスル空氣ガアル。官吏層ハ生活難ヨリ蔣介石ニ對スル忠誠觀ガ動搖シ初メタ。米產地タル湖南ノ難民ガ重慶地區ニ流レ込ミ糧食ノ不足ガ急迫シテ來タ。共產黨ハ此ノ窮狀ニ乗ジ流民ヲ味方ニ入レルベク運動ヲ開始シタトノ情報ガアル。現ニ重慶ニ駐在スル共產黨ノ代表者ハ、重慶ノ中下級ニハ厭戰氣分盛ントナリ來リ抗戰ノ繼續困難ニテ、將來ハ米英ガ如何ナル程度ニ抗戰ヲ支援スルカニ懸ツテ居ル。今ハ最モ注意ヲ要スル時機dealルト報告シテ居ル趣deal。

尤モ反面ニハ米國式ニ訓練セラレタ「ビルマ」方面ノ蔣系軍ハ抗戰ニ自信ヲ持チ來レリトノ情報モアル。要之抗

戰ノ長期繼續ト大陸ニ於ケル不利ナル戰況、中共ノ跳梁等ノ爲メニ愈々複雑化シ來タノニ加ヘテ、在支米軍ノ將領ト蔣介石トハ必ズシモ良好圓滿ナ關係ニアルトハ言ヘヌノハ事實デアル。歐亞ニ於ケル情勢ノ變化ト重慶內部事情ノ複雑化ガ中國ノ抗戰ニ及ボス影響ハ未ダ表面ニハ現ハレザルモ注意スベキ段階ニ達シツツアルコトハ確實デアル。

## 第二 國民政府ノ實情ト我方ノ態度

### (一) 要旨

(1) 國民政府ノ官吏層カ經濟不安ノ爲ニ動搖シ政府ノ運行ニ多大ノ支障ヲ來タシテ居ル。

我方ハ飽迄政府ヲ鞭撻援助シテ經濟不安ヲ除去スルニ努メネバナラス。

(2) 國民政府カ國內ニ於テ其ノ權威ヲ高ムル様出來得ル限りノ援助ヲ行フヘキテアル。

經濟顧問ヲ強化シテ獨リ經濟部面ノミナラス政治文化方面ニ於テモ國民政府ノ相談相手トナル様仕向クルコトカ適切テアル。

(3) 日華兩國ノ恒久的の友好關係ヲ確立スル爲メニハ兩國文化關係ニ留意スル必要カアル。特ニ文化人ノ目下ノ窮狀ニ鑑ミ今日此ノ事業ニ着手スルコトハ彼等ノ最モ感銘スルトコロテアラウ。

### (二) 説明

(1) 國民政府ハ日本ノ支援ニ依リテ樞軸各國ノ承認ヲ獲得シ、治外法權ノ撤廢租界ノ回收ニ依リテ支那ノ國權ヲ回復シ、日華同盟條約ノ締結、祕密協定ノ廢棄等ニヨリテ華々シキ外交上ノ成功ヲ獲チ得テ國內ニ其ノ地位ヲ向上シタガ、他方內政上ヨリ見レハ主席ノ病氣ノ爲メニ政治ノ中心ガ曖昧ニナツテ來タ。異常ノ物價騰貴ノ爲メニ民心殊ニ智識階級ノ反感ヲ招キ官吏ノ能率ヲ極度ニ害シテ居ル。政務ノ半バ以上ハ日常ノ事務ニ依リテ處理セラレ居ルノデアルガ、南京ノ中央政府ニ於テハ財政部實業部ヲ除キテハ各部ハ頗ル閑散デ、部長級ノモノニシテ南京ヲ離レテ上海ニ赴クモノ多ク、各部ノ官吏モ出勤常ナク、次長級ノ者ニ於テスラ往復ノ車馬賃ガ俸給ノ半額ニ達スル有様デ、役所デハ筆墨費ニスラ事缺キ、部長次長ガ登廳スレバ局長課長カ生活ノ窮狀ヲ頻リニ訴フルモ策ナキ有様デ

アル。教育部管下ノ教員階級ノ生活ハ悲慘ノ極ミニテ、小學校教員ニシテ授業終了後人力車夫トナリテ生活費ヲ稼クモノアリト聞イタ。他方收入ヲ有スル部門ノ腐敗甚タシク、曩ニ軍用米買上ゲニ當リ數千元ヲ横領シ死刑ニ處セラレタル糧食局長級アリ、同様糧食部長次長等モ十年ノ處刑ヲ受ケ、最近ハ上海市政府ノ稅務局長ハ四億元ニ上ル税金ヲ横領シ、關係者五十五名ハ南京政府ノ特別法廷ニ送致セラレタル事件ガアル。其ノ他敵產關係ヲ繞リテノ風評頻リニテ、又國民政府ノ租界進出後ノ中小官吏ノ腐敗ノ著シク目立ち來リテ國民政府ノ權威ヲ失墜スルコト甚ダシキモノガアル。固ヨリ國民政府ニハ重慶方面ニ比シ人材少數ナル上我軍ノ占領地ニアル等ノ關係上、獨自ノ經濟政策ヲ實行スル政治行政力ヲ缺キ、和平反共ノ指導精神モ今日ノ狀態ニ於テハ未ダ智識層青年層ヲ把握スルニ足ルモノデナイノガ弱味デアル。

大東亞戰爭ノ前途ニ對スル財界及智識層ノ見透ハ、米英ノ勝利重慶政權ノ復歸ヲ豫想スルモノ多ク、上海財界人ノ我方ニ對スル態度モ未ダ表面的協調ニ過ギザルモノト認メラル。

(2) 一般支那人ハ各地域ヲ通ジテ無智蒙昧ニシテ概ネ大東亞戰爭ノ歸趨ニ付無關心デアリ和平地區敵地區等ノ觀念ニ乏シ。然レドモ智識階級ニ於テハ世界ノ大勢ニ覺醒シ「中國人ノ中國」ヘノ念ニ燃エ始メタルモノノ如ク、此レヲ助長シ將來我方トノ提携ニ資スル爲メニハ、文化方面ニ於テ一層ノ支援ヲ爲ス必要アリ。以上ノ情勢ハ北支蒙疆ヲ通ジテ大体同一ノ事情ニアルモ、華北政務委員會ニ於テ我方強力ナル指導ニ由リ各部門ノ施策比較の一貫シヨク實施セラレ居リ、財界人ノ大東亞戰爭完遂ノ爲ノ協力ハ中支ニ比シ積極的ナルモノアリ。蒙疆自治政府ニ於テハ治安モ善ク又行政力モ日系官吏ニ依リ強力ニ實施セラレテ居ツタ。日本政府トシテハ以上ノ實情デアルトシテモ、南京政府ニ對スル信義ノ問題ハ勿論、南京政府ノ中央銀行ヨリ巨額ノ貸出シヲ爲サシメテ、之ニ依リテ支那派遣軍ノ軍費及對日還送物資ノ支拂ヲ調辨シアル現狀ニ於テ、此ノ點ノミヨリ見ルモ之ヲ弱化ニ任カスコトハ出來ヌ。又政府ノ政治力弱体化ノ原因ノ一半ハ物價騰貴デアリ、儲備券聯銀券ノ巨額ノ放出デアアルノデアルカラ、日本政府トシテモ責任ヲ免レヌコトハ事實デアル。

以上飽迄政府ヲ鞭撻シテ善政ヲ布ク樣導カネバナラヌガ、殊ニ南京政府ニ期待スルモノハ精神的ニ大東亞戰爭ノ戰意ヲ昂揚シ隷下部隊ニ依ル治安維持方面デアラウ。

國民政府ノ強化ヲ計ル爲メニ考ヘ得ベキ措置ハ冒頭ニ於テ述べタ所デアリ、經濟部面ニハ後ニ述ベル通デアルガ、今日國民政府ニ差當リ期待シ得ルモノハ寧ロ形式的の又ハ精神的の方面ニアリト認メラルルニ付、我方ニ於テモ此ノ點ニ留意シ飽迄中央政府トシテノ權威ヲ高ムル樣仕向クベキデアル。一方使トシテ我方ハ各地ニ特命全權公使ヲ置イテ居ルノヲ全廢シテ、代表の外交使節ノ名義ヲ有スルモノハ在南京ニ駐在スル大使一個トシテ、各地ノ公使ハ寧ロ參事官ニ格下ゲタルコトガ小策ナガラ此ノ際考ヘラルベキ一策デハナイカ。又華北政務委員會限リニ於テ任命シテ居ル華北各省市ノ長ヲ形式ダケハ南京ノ任命トシテ、裏面ニ於テ華北政務委員會ノ推薦スル者ヲ無條件ニテ任命スル樣措置スルノモ他ノ一策デハアルマイカ。國民政府ヲ援助スル爲メニ全國經濟委員會ニ多數ノ有能ナル日本人顧問ヲ招聘セシメ居リ相當效果ヲ擧ゲ居ルモ、今日國民政府ガ我方ノ助言ヲ要スルハ獨リ經濟方面ニ限

ラス政治文化ノ方面ニ於テモ同様ノ事情ニアル。然ニ日系官ノ如キ形式ニ流レザル樣留意シツツ顧問ノ強化ヲ計リ、大使ニ表面ヨリ行フヲ便トセザル事項ニ付、支那側内部ヨリ發動セシムル樣適切ナル助言ヲ與ヘ、常ニ國民政府ノ友人トシテ帝國政府ノ意向ヲ反映スル等ノ任務ニ當ラシムルヲ一方法ナリト考フ。

(3)日華兩國ノ恒久的の友好關係ヲ確立スル爲メニハ、當面ノ政治經濟ノ諸問題ヲ解決スルニ止マラズ、進ンデ兩國民間ノ態度ヲ解消シ融和ナル空氣ヲ助長スルコトガ、根本のニ必要デアル。此レガ爲メニハ精神的文化的の方面ノ施設ヲ盛ンニ行フコトガ最有效デアル。殊ニ最近中國ニ於テハ知識階級ハ經濟的重壓ニ極度ニ疲弊シ死線ノ境ヲ彷徨シ居ル狀態デアルカラ、此ノ際我方ニ於テ此ノ方面ニ着眼シ遠キ將來ヲ考慮シタル施策ニ出ツルコトハ日華兩國關係ノ改善ニ資スルコトコロ多大ナルモノガアルデアラウ。

現ニ南京市ヘ我方ヨリ寄贈セラレタル觀世音菩薩ガ市民信仰ノ中心トナリ、三藏法師ノ佛骨ヲ納ムル塔ノ建立ガ中國ニ多大ノ感銘ヲ與ヘ居ルガ如キハ其ノ適例デアル。

具體案ニツキテハ慎重研究ヲ要スルモ中日文化協會ヲ中心トシテ立案セシムルコトガ適當デアル。

文化政策ハ當面ノ政治問題ニ餘リニ密着スルトキハ文化侵略ト誤解セラルルノデ充分注意スル必要ガアルガ、陳公博氏ガ新ニ汪主席ノ後繼者トシテ主席代理ニ推サレタル今日ニ於テ、特ニ文化方面ニ力ヲ注グベキ旨ノ方針ヲ明ニスルコトハ氏ノ知識階級ニ於ケル地位ヲ高ムル所以デアル。

### 第三 中國ニ於ケル經濟概況ト對策

#### (一) 要旨

中國ヲシテ大東亞戰爭遂行ニ必要ナル物資資材供給地トシテノ重要ナル任務ヲ達成セシムルニハ、第一ニ國民政府ノ政治力ガ廣ク深ク民衆ニ滲透シ大東亞戰爭ノ眞意議ヲ彼等ニ諒解セシムルコトガ必要デアルト共ニ、第二ニ中國經濟ノ運営宜シキヲ得最大ノ生産力ヲ發揮スル様之ヲ指導援助スルコトガ必要デアル。現地我方軍、官、民諸機關ノ行フ經濟工作並ニ指導ガ銳意此ノ目的ヲ達成スル様推進セラレツツアルコトハ充分ニ觀取セララルトコロデアルガ、最近

ニ於ケル世界戰局ノ推移ノ影響並ニ日ヲ追ツテ進ム現地通貨膨脹、物價騰貴ノ現狀ノ下ニ於テハ更ニ經濟諸施策ノ構想ヲ新ニシ新ナル事態ニ即應シテ過誤ナキヲ期サネバナラヌノデアル。此ノ見地ニ於テ檢討シ施策ヲ要スル主要ナル問題ヲ掲記スレバ凡ソ左記ノ通りデアル

(1) 日本側經濟施策實行擔當機關ノ一元的體制ヲ更ニ促進スルコト

中國各地ニ於ケル日本側諸機關ノ連絡協調ハ概ネ良好ト認メラレルガ、向後トモ更ニ連絡協調ヲ密ニシ中央ノ精神ヲ各機關ノ末端迄徹底セシムルコトガ必要デアル。尙現地軍ハ經濟部門ヨリ手ヲ引クコトヲ原則トサレテ居ルガ、最近ノ情勢ニ於テハ軍ノ背後ニ於ケル好意的ノ支援ガ經濟施策ノ遂行ニ必要トナツテ居ル。此ノ場合軍ノ背後の支援ヲ有效適切ナラシメ且廣ク智識經驗ヲ動員スル意味ニ於テ經濟事情ニ精通セル實際家ヲ軍ニ招聘シ經濟參謀ノ任務ヲ分擔サセルコトガ適當ナル一案ト考ヘラレル。

(2) 中國側ノ創意ト責任ノ尊重活用ヲ徹底セシムルコト  
中國側ニ任スモノハ任スト云フ方針ヲ出來ル丈ケ徹底セ

シメ、中國側ノ創意ト責任ヲ以テ中國經濟ノ運營ヲ分擔セシムルコトガ必要デアル。國策會社ノ改組、中小工業ノ復活及ヒ物資收買工作等ニ對シ此ノ方針ヲ徹底セシムルコトハ、中國側ノ經濟協力ノ熱意ヲ喚起シ生産ノ增強物資ノ確保ニ資スルコトコロ大ナルモノガアラウ。

此ノ點ニ付キ上海財界人ノ日本側ニ對スル協力カ屢々問題トナツテ居ルガ、前記ノ方針カ徹底スレバ彼等ノ協力ヲ得ルコトハ期待スルコトガ出來ル。

(3) 物資ノ急速收得等所謂急速經濟戰力化實行ニ依リ中國經濟ノ行詰リヲ生ゼザル樣格段ノ留意ヲ爲スコト

緊迫セル戰局ニ對處シ本年末迄ニ一切ヲ戰力化スベシトノ方針ハ關係者ノ熱意ヲ昂揚スル意味ニ於テ必要ト考ヘラレルトコロデアルガ、之ヲ無條件ニ實行スル場合ニハ通貨ノ急増、物價ノ激騰トナリ現地經濟ノ行詰リヲ生ズル懸念ガアル。戰爭ガ短期ニ終熄スルモノデナイトスルナラバ、中國經濟ノ維持ヲ計リ其ノ兵站基地トシテノ機能ヲ飽ク迄保持セシメルコトニ努メナケレバナラヌ。

(4) 現地ノ施策ニ付テハ中央ハ其ノ大綱ヲ把握スルニ止メ現地機關ノ創意責任ニ於テ現地限りニ之ヲ實行スルノ方針

ヲ樹ツルコト

今日ノ如ク現地ノ事情ガ急激ニ變動スル場合、之カ處置ヲ一々中央ニ照會シテ施行シテ居ルヤウナコトデハ有效適切ナ處置ヲ爲スコトハ困難デアル。國策會社、軍管理工場ノ製品價格等ニ對スル監督指導ノ如キ點カ其ノ一例デアル。尙前記ノ方針ヲ採ル上ニ於テハ現地機關ノ人的要素ノ充實及其ノ配置ニハ格段ノ考慮ヲ要スルモノガアルデアラウ。

(5) 通貨膨脹、物價騰貴ニ對スル施策ヲ速ニ樹立スルコト

物價ノ昂騰ニ依リ中國側官吏竝ニ所謂智識人ノ生活ガ困難トナリ、之ガ爲メ官吏ノ腐敗事件頻出シ、又智識人ノ奇矯ナル言説ガ潛行シテ居ル。右ハ國民政府ノ政治力ノ確立ニ重大ナル影響ヲ與ヘ又日支兩國協力シテ戰爭ヲ遂行スル上ノ支障ヲ爲シテ居ル、尙又物價ノ昂騰ハ中國側ノ囤積ヲ益々助長スルコトナリ、延イテ收買ヲ困難ナラシメ、生産ノ發展ヲ阻害スルコト尠クナイ。仍テ之ガ對策トシテハ

(イ) 我方國庫金ノ支出ヲ前記(3)ノ趣旨ニ依リ調整シ以テ通貨ノ急増ヲ抑制スルコト、尙本點ニ關シテハ收買機關

ノ一元化ヲ計リ買付機關ニ於ケル競争ニ依ル物價ノ昂騰ヲ抑制スル必要アリ

(ロ) 儲備券、聯銀券ガ當テノ軍票同様ノ性格ヲ有スルコトヲ認識シ、其ノ信用ヲ毀損スルガ如キ取扱態度ヲ嚴戒スルコト

尙見返物資ヲ收買機關ノ損失補填ニ充當スル遣方ハ極力之ヲ止メ、見返物資ハ市場價格ニ依ル一般賣却ニ充テル様改ムルコト

(ハ) 敵産ノ處分ニ依リ銀行券ノ回收ヲ計ルコト

(ニ) 煙草、石炭、燐寸、綿布等我方企業ノ生産物資ヲ市場價格ニ追隨スル價格ヲ以テ賣却シ通貨ノ回收ヲ計ルコト

(ホ) 金ノ賣却操作竝ニ金ノ使用ニ依ル通貨ノ回收、通貨價值ノ維持ニ付テハ今日ノ事態ニ即應シテ新ナル觀點ヨリ施策ノ再檢討ヲ爲スコト、本點ニ付テハ重慶側ニ於ケル米國ヨリ輸送セル金塊ノ處置工作ヲ睨ンデ置クコトガ必要デアル

(6) 中國側ノ財政收入増加ニ付キ適當ナル指導援助ヲ爲スコト

物價騰貴ノ爲メニ起ル中國側官吏ノ腐敗ヲ防止スルニハ、財政收入ヲ増大シ其ノ給與ヲ増加スルコトガ必要デアル。尙又政府ヲシテ我國ト協力兩國共通ノ文化工作ヲ振興セシムル爲メニモ歳入ノ増加ヲ要スル。此ノ見地ニ於テ煙草等ノ收益ノ一部ヲ中國側ヲシテ取得セシムル援助方策ヲ樹ツルコトガ必要デアラウ。尙中國側ノ處理ニ任ゼラレタ阿片ノ收入ハ有力ナル財源トナルデアラウ。

(7) 生産増強ニ付キ左ノ諸點ヲ考慮スルコト

(イ) 農産物ノ増産ニ付テハ運河ノ改修、黃河ノ治水、發電ニ依ル肥料ノ生産等遠大ナル施策ヲ企劃スル一面、我方専門家ニ依ル農業技術ノ指導機關ヲ充實スルコト、竝ニ合作社ノ機構改善指導ニ依リ農村生活ノ安定確立ヲ計ルコトガ必要デアル。尙農産物收買價格ヲ適正ナラシメ農民ノ生産意慾ヲ旺盛ナラシムルコトヲ徹底サセル必要ガアル。

(ロ) 鑛工業部面ニ於ケル生産増強ニ對シテハ、企業者ノ創意責任ヲ尊重スル根本方針ヲ確立スルト共ニ、生産品ノ價格決定ノ如キハ出來ル丈ケ敏速ニ實行シ、經理ノ爲メニ生産ノ熱意ヲ喪失セシメザルコトガ必要デアル。

(ハ)輕工業ノ振興ハ物價騰貴ノ抑制、民生ノ安定上缺ク可カラザルモノナルニ鑑ミ、日華何レノ事業タルトヲ問ハズ原料、動力、運輸、製品ノ處分等ニ付キ出來得ル範圍ノ指導援助ヲ與ヘ之ガ振興ヲ計ルコトガ必要デアル。

(8)大陸鐵道運輸改善ノ爲メ軍官協力ヲ以テ調査ヲ爲スコト大陸鐵道ハ各地域經營擔當者ノ努力ニ拘ラズ、車輛枕木等各種資材ノ不足ニ依リ充分ノ輸送能力ヲ擧ゲ得ヌ實情ニ在リ、向後ノ問題トシテハ各地ヲ綜合スル一貫の運營ニ依ツテ資材ノ融通ヲ圖リ能率ヲ増進スルコトガ急務デアルト考ヘラレテ居ル。之ガ爲メニ軍事輸送ノ重大ナル點ニ鑑ミ軍官兩者ガ連絡主體トナリ、右ノ問題ヲ檢討スル必要ガアル。此ノ趣旨ニ依リ現地ノ査閲ヲ考慮スル必要ガアルデアラウ。

## (二)説明

### (1)通貨及物價ニ付テ

儲備券、聯銀券ノ十月末ノ發行殘高ハ聯銀券ハ百三億圓、儲備券ハ八百四十一億元テ、最近ハ日ニ儲備券ハ五、六億元、聯銀券ハ七、八千萬圓ノ増加デアリ、本年末ニハ

儲備券千五百億元、聯銀券百五十億圓ニ増加スルヤニ見込マレテ居ル。北中支ニ於ケル物價騰貴ノ原因ニ付テハ、戰局ノ不利、生産ノ停頓、輸送ノ不圓滑、中國側ノ投機囤積等ノ色々ナ原因ガ複合シテ居ルコトハ勿論デアルガ、最近ノ通貨ノ膨脹ガ與ツテ大キナ影響ヲ與ヘテ居ルコトハ爭フコトガ出來ナイ。コノ最近ニ於ケル通貨膨脹ノ大部分ハ、經濟ノ急速戰力化ノ要求ニ基ク我方ノ物資調辨竝ニ蒐買代金ノ放出増大ニ基因スルモノデアツテ、就中調辨竝ニ蒐買機關相互ノ競合ガ此ノ勢ヲ一層助長シテ居ルモノデアアル。コノ様ナ通貨増發ノ勢テハ向後中國經濟ノ維持、物價ノ暴騰抑止ヲ期スルコトハ到底不能ト考ヘラルルヲ以テ、右ノ急速戰力化ノ實行ニ關シテハ調辨機關ノ合理化、時期ノ按配等適當調整ヲ加フルコトニヨリ通貨ノ放出量ヲ極力壓縮スルト共ニ、他面通貨ノ回收策ニ關シテモ前段要旨ノ項ニ説述シタ様ナ一段ノ工夫努力ヲ須フル事ガ必要デアアル。

物價昂騰ノ民生ニ及ボス影響ハ我國ト同一ニ論ジ得ナイ事ハ勿論デアツテ、住民ノ大多數ガ農民デアアル支那ニ於テハ問題ハ必ズシモ深刻デハナイガ、物價騰貴ノ結果官

公吏竝ニ知識階級ガ非常ナ困苦ヲ嘗メツツアル事ハ事實デアル。今回聽取セル物價騰貴カラ生スル官公吏ノ悖德事實ハ國民政府ノ權威ヲ損シ、其ノ政治力ノ確立ニ重大ナ影響ヲ與ヘテ居リ、一方知識階級ノ生活困難ハ所謂政客縱横ノ辯トナツテ、或ハ大東亞戰爭ノ眞意ヲ誤解セシムル言説トナリ、或ハ共產主義ノ宣布論トナツテ、此ノ點ニ於テ物價騰貴ニ對スル對策ハ重要ナ政治的意義ヲ持ツモノデアル。

物價騰貴ノ日本側ニ與フル影響ハ深刻デ、日本側ノ事業會社、銀行等ノ經營ハ愈々困難ヲ加重シ、又在留邦人ノ一部即チ官公吏、銀行會社ノ俸給依食者等ノ生活ハ非常ナ脅威ニ曝サレテ居リ、其ノ結果之等ノ人々ノ士氣ハ頗ル振ハナイノミナラズ、鐵道従業員ノ若干ハ瀆職事件ヲ惹起シテ支那人ノ輕侮ヲ招イテ居ル極端ナ事例モアル。敍上ノ諸點ニ鑑ミ支那側官公吏ノ生活安定ノ爲ニハ給與ノ改善、現物給與ノ増加ヲ、又知識人ノ生活改善ノ爲ニハ文化活動ノ増大等ヲ圖ルヘキテ、之ニ必要ナ處置ヲ國民政府ヲシテ採ラシムル様指導援助ヲ爲スコトガ極メテ必要デ之ニ要スル財源ニ付テハ阿片、煙草等ノ利益ヲ適

當處理スル様各般ノ施策ヲ爲スヘキテアル。

在留邦人ノ生活困難ニ對シテモ亦適當給與ノ改善或ハ支那人ノ納得シ得ル様特殊配給ヲ改善スル事等ノ要アルハ勿論デアル、尙現地ニ於ケル統制ハ日本側ノミヲ對象トスルコト多ク、從ツテ物價騰貴ニ依ル利益ハ支那側カ占メ、日本側ハ逐次經濟の二後退スルノ傾向ニアルカ、日本側事業ニ對スル統制ハ支那側ト睨ミ合セ適當ニ緩和スル事ガ必要デアル。敍上ノ諸對策ヲ以テスルモ物價ノ騰貴ハ免レ得サルヘク、從ツテ日本側所要物資ノ蒐買竝ニ軍ノ現地調辦ノ費用ハ増大スル事ナリ、殊ニ適正價格ニ依ル蒐買ノ原則ガ確立シテ居ル以上、本邦豫算ノ増加ハ避ケ得ナイ處デアル。右豫算ノ増大ニ對スル處置トシテハ種々對策カ考究セラレテ居ルカ、是カ負擔ノ一部ヲ現地ニ於テ處理スルコトモ一案ト考ヘラレル。即チ我方ノ經營ニ屬スル事業中例ヘバ石炭、煙草、マツチ、綿布等ノ商品ノ一部ヲ市價ニ追隨スル價格ヲ以テ販賣シ其ノ利益ノ一部ヲ國庫ニ歸屬セシメ、其ノ資金ヲ以テ前記ノ所要ニ充當セシムルノ案デアル、本案ノ構想ハ滿洲ニ於テモ同ジク小規模ナガラ實施セラレテ居ルガ、本制度ハ

北中支ニ於テモ亦相當ノ規模ニ於テ實施セララル事ガ必要デア  
ル

右ハ從來ノ固定の價額政策ヲ改訂スルモノデアツテ、一見物價ノ騰勢ヲ促進スルモノノ様ニ見ラルガ、市價ニ依ル商品ノ販賣ハ大衆カラヨリ大ナル購買力ヲ吸收スルコトナリ、此ノ面ニ於ケル作用ハ支那ノ實情ニ於テハ重要ナ役割ヲ果スモノデア  
ル。北支ニ於テハ官民兩方面ニ於テ此等ノ點ヲ檢討シ凡ソ意見ノ一致ヲ見タ様デアリ中支ニ於テモ此ノ種ノ問題ヲ提起檢討シ、北中支共ニ一種ノ基金制度ノ如キモノノ確立カ希望セララル處デア  
ル。尙本制度ガ出來タ上ノ運用ニ付テハ、其ノ運營ハ大体現地ニ一任スルノ体制ヲ採ルコトシ、現地ニ於テハ之ガ重大性ニ鑑ミ委員會ノ制度ニ依リ公正適切ニ運用スルヲ要ス  
ル。

## (2)生産増強ニ付テ

中國ニ於ケル生産増強ノ問題ハ、我國ノ所要物資ノ生産増強ト一般民生ニ必要ナ物資ノ生産増強トノ兩面ニ大別スルコトガ出來ヤウ。前者ハ鐵、石炭、棉花、礬土頁岩等ノ増産デア  
リ、後者ハ食料品竝ニ輕工業品ノ増産デア  
ル。

ル。右兩面ノ増産ニ付テハ種々技術的ノ檢討竝ニ施策カ眞劍ニ實施セラレ、視察者ヲシテ感激セシムルコロガ甚大デア  
ルガ、全体ノ成績ハ運轉ノ不圓滑、勞工ノ不足等ノ爲メニ遺憾乍ラ所期ノ通りニハ進ンデ居ナイ。仍テ一般技術的ノ施策ヲ推進スルト同時ニ左記ノ點ヲ考慮スルコトガ必要デア  
ル。

(イ)民生ノ安定ヲ確保シ勞働意慾ヲ旺盛ニスル爲メ農産物ノ増産ヲ計ルコトガ一切ノ政策ノ基本デア  
ル。之ガ爲メニハ運河ノ改修、黃河ノ治水、發電ニ依ル肥料ノ生産等遠大ナル施策ヲ企劃スルト共ニ、我方専門家ニ依ル農業技術ノ指導機關ヲ充實スルコト、竝ニ合作社ノ機構改善指導ニ依リ農村生活ノ安定確立ヲ計ルコトガ必要デア  
リ、又當面價格政策ニ依ツテ生産意慾ヲ阻止セザルコトモ肝要デア  
ル。農産物收買價格ヲ強イテ低位ニ置ク政策ハ、我國ト國情ヲ異ニシ且ツ共產軍及ビ重慶軍ト競合シテ收買ヲシナケレバナラナイ現狀ニ在ツテハ實行不可能ト云フベキデア  
ル。此ノ點ノ事情ハ最近大部了解サレ來ツタガ末端迄此ノ趣旨ヲ一層徹底サセル必要ガ  
アル。

(ロ)鑛工業部面ニ於ケル生産増強ニ對シテハ、現地諸機關ノ綜合熱意ニ依リ資材獲得困難、輸送不圓滑等ノ各種困難ヲ克服シ、與ヘラレタ條件ノ下ニ於テ充分ノ成績ヲ擧ゲツツアルコトガ認メラレル仍テ此ノ熱意努力ヲ喪失セシメヌ様企業者ノ創意責任ヲ尊重スル根本方針ヲ確立スルト共ニ、生産品ノ價格決定ノ如キハ出來ル丈ケ敏速ニ實行シ經理ノ爲メニ生産ノ熱意ヲ喪失セシメザルコトガ必要デアル。尙今日現地自体ノ問題トシテ大ナルハ、必要ナ勞働力ヲ如何ニシテ確保スベキカノ問題デアリ、右ニ對スル處置トシテ各種行政的勞務管理ノ方策ヲ必要トスルガ、其ノ根本ニ於テハ勞働者ノ民生安定ヲ計ルコトガ急務デアリ、從ツテ食料品其他ノ生活必需品ノ配給問題ガ大切デアル。即チ重點部門ニ對スル之等重要生活必需品ノ配給ニ付テハ之ガ機構ヲ整備スルト共ニ複數價格制ノ採用ガ必要デアラウ。而シテ此ノ制度ヲ採用スルニ付キ必要ナル價格調整財源ハ、前段通貨及ビ物價問題ノ末尾ニ掲ゲタ基金ニ依ルコトナルダラウ。猶此ノ種ノ特殊配給ニ關シテハ成ル可ク中國側ヲシテ納得セシムル仕組ヲ考究スル必

要ガアル。

右ノ見地ニ於テ農産食料品ノ生産増強ハ、鑛工業部面ニ於ケル生産増強ニ缺ク可カラザル前提條件トナルノデアルガ、北支ニ於ケル重點産業勞働者ニ對スル食料補給ノ爲メニ、滿洲、蒙疆及中支カラ多量ノ食料品ヲ輸入シ得ルコトハ時局下多幸トスベキ點デアツテ、之カ輸送ヲ計畫通り實行スルコトハ急務デアル。

(ハ)支那ニ於ケル輕工業ノ振興ハ當面ノ物價騰貴ヲ抑制シ、民生ノ安定ヲ計ルニ必要ナルノミナラズ、將來ニ向ツテ大東亞ニ於ケル産業立地計畫ヨリ見ルモ當然然カルベキトコロデアル。上海近傍ニ於ケル工場ハ三千ト概算サレルガ、今日操業ヲ爲スモノハ僅カニ其ノ一割ニモ達シナイト云ハレテ居ル。是等ノ工場ヲ何等カノ方法デ運轉セシムルコトハ刻下ノ急務デアル。是ガ爲メニハ原料、動力、運輸、製品ノ處分等ニ付、日華間ニ了解ヲ付ケ中國側ノ創意竝ニ勞働力ヲ活動セシメルコトガ必要デアル。尙北支ニ於テハ此ノ點ニ着目シ、輕工業金融ヲ計ル爲メ最近日華合辦ノ華北工業銀行ガ設立サレタコトハ時機ニ適シタ方策ト考ヘラレル。

(3) 運輸ニ付テ

陸海兩面ニ於ケル運輸ノ改善、増強ガ現下中國ニ於ケル經濟活動ノ維持發展ノ緊急條件デアルコトハ想像以上デアル。上海ニ於ケル輕工業生産ノ停頓セル原因ハ北支炭ノ不足ニ基因スルガ如キ其ノ著例デアル。華北、華中ノ運輸連絡改善ニ付テハ要旨中ニ述ベタ如キ方策ガ必要デアルガ、更ニ運河ノ利用、ジャンク輸送ノ檢討其他廣ク支那側ノ機構、勞力ニ依ル輸送問題ノ解決ニ付テハ急速且ツ徹底的ノ檢討施策ガ必要デアル。

尙京漢、粵漢、湘桂鐵道等ノ經營ハ、將來大陸ニ於ケル交戦ノ長期化ニ伴ヒ必然考慮セラレザルベカラザル問題デアルカラ、此ノ際併セテ研究シ廣キ基礎ニ立チ計畫ヲ樹立シ置ク必要ガアル。

(以上)

(欄外記入)

本書ハ結城顧問ヨリ總理、大東亞、大藏各大臣ニ提出セラレタルモノノ寫ナリ



265

昭和20年1月11日 最高戦争指導會議決定

「支那戰時經濟確立對策」

● 支那戰時經濟確立對策

第一、方針

軍ノ自戦自給及對日滿寄與ヲ第一義トシ支那經濟ノ破綻ヲ防止シ戰爭寄與ヲ確保スル爲努メテ現地經濟力ノ維持培養ヲ圖リ現制通貨ヲ擁護ス

之ヲ遂行ニ當リテハ日華軍官民眞ニ一体トナリ特ニ軍ノ強力ナル推進ノ下現地ノ創意ヲ重視シツツ速カニ諸施策ノ綜合的ナル結實ヲ期ス

第二、要領

一、施策ノ強力ナル綜合的推進

現地陸海大東亞一体トナリ強力ナル綜合指導機關ヲ設置シ之ヲ中核トシ日華ノ總力ヲ結集シテ各般ノ施策ヲ果敢ニ遂行シ之カ徹底ヲ期ス

二、軍自給、對日滿寄與ノ調整

軍自給ニ關シテハ計畫ノ一元化及調達ノ綜合効率化ヲ圖ル

對日滿寄與ニ關シテハ海陸輸送力及現地供給能力トノ吻合ヲ圖リ且之カ要請指令ヲ統一ス

### 三、現地經濟力ノ維持培養

軍自給ト對日滿寄與トノ長期確保竝ニ支那經濟破綻防止ノ爲支那側ノ創意ヲ活用シ努メテ民生ノ維持ヲ圖ル特ニ食糧、生必物資及石炭ノ増産、輕工業ノ振興、凡有輸送力ノ動員活用竝ニ物資交流ノ圓滑化ヲ重視ス

### 四、現制通貨ノ擁護

現制通貨ヲ飽ク迄擁護シ之カ破綻ヲ防止スル爲通貨放出ノ調整、回收ノ劃期的強化、發券銀行ノ強化刷新、帝國信義ノ堅持等各般ノ施策ヲ強行ス

尙回收ノ劃期的強化ニ關聯シ軍資金ノ調達ニ付特段ノ措置ヲ講ス

### 五、邦人經濟活動ノ刷新

邦人經濟及國策會社ノ現狀ヲ打開シ益々戰爭寄與ニ動員スルト共ニ善隣的經濟運營ノ徹底ヲ期ス

